

平成20年度

全国輸出入コンテナ貨物流動調査
調査結果

平成21年3月

国土交通省港湾局

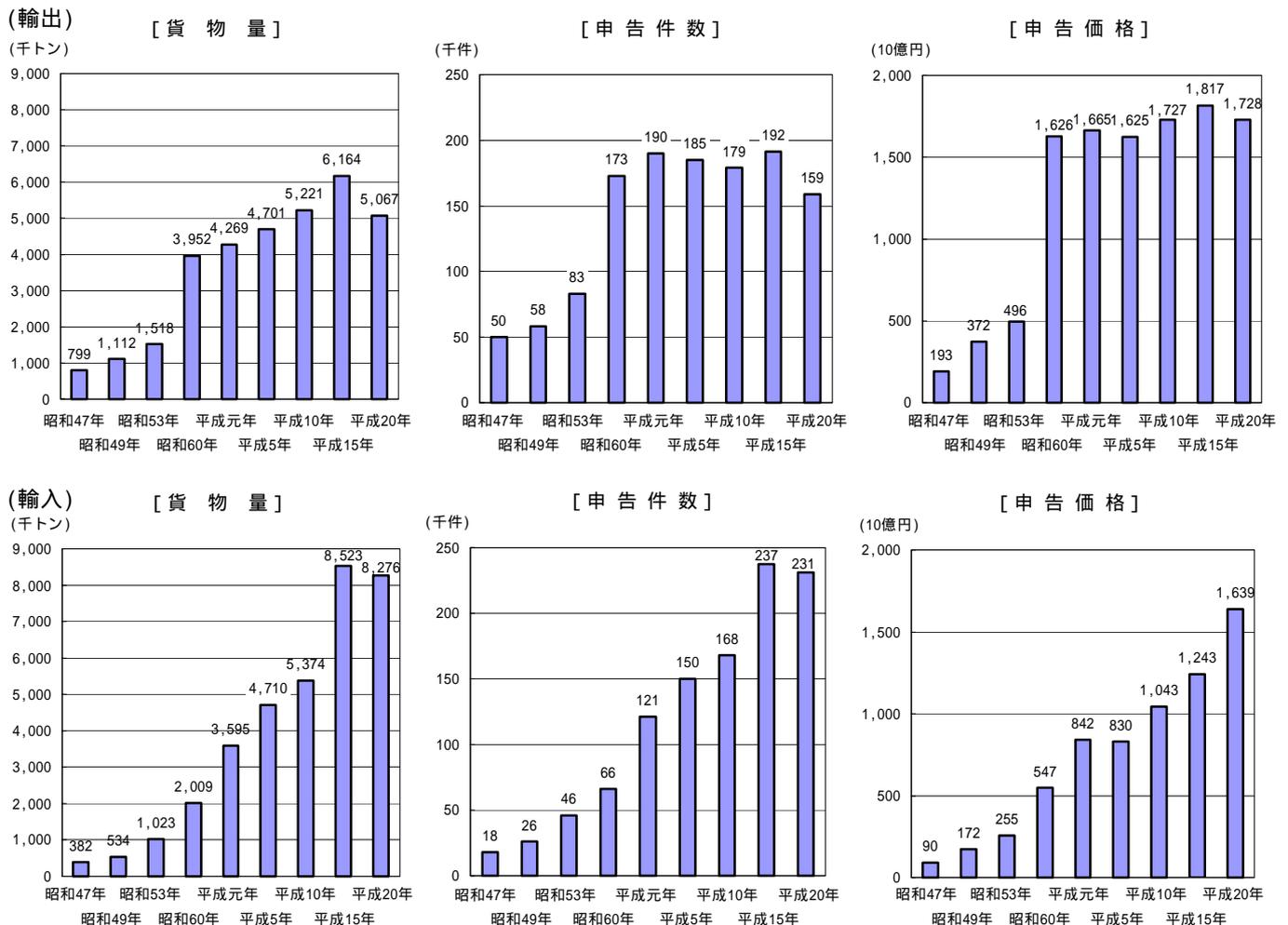
目 次

1 . コンテナ貨物量、申告件数、申告価格	1
2 . 調査の捕捉率	2
3 . コンテナ貨物の生産地、消費地	3
4 . コンテナ貨物の流動状況―その1 -	6
5 . コンテナ貨物の流動状況―その2 -	11
6 . 距離帯別生産地、消費地分布	13
7 . コンテナ貨物の主な輸送手段	14
8 . 税関別申告状況	15
9 . 輸出入申告時の蔵置場所	16
10 . 申告時の貨物の状態	17
11 . コンテナ貨物の詰め施設、取出施設	18
12 . 港頭地区における詰め、取出の状況	22
13 . コンテナ貨物の船積、船卸状況	24
14 . 航路別にみたコンテナ貨物	25
15 . 非直送率（日本発着のコンテナ貨物のうち アジア主要12港で積替輸送される比率）..	27
参考1 . コンテナ貨物の仕向地、仕出地	34
参考2 . 品目別にみたコンテナ貨物	38

1. コンテナ貨物量、申告件数、申告価格

- ・輸出コンテナの貨物量は5,067千トン、申告件数は159千件、申告価格は1兆7,277億円。
- ・申告1件当たりの貨物量は31.9トン、申告1件当たりの申告価格は1,087万円、トン当たりの申告価格は34.1万円。(前回調査：各々32.2トン、949万円、29.5万円)
- ・輸入コンテナの貨物量は8,276千トン、申告件数は231千件、申告価格は1兆6,392億円。
- ・申告1件当たりの貨物量は35.8トン、申告1件当たりの申告価格は709万円、トン当たり申告価格は19.8万円。(前回調査：各々35.9トン、524万円、14.6万円)
- ・輸出に対する輸入の比率は、貨物量1.63(前回調査1.38)、申告価格0.95(同0.68)であり、いずれも輸入のウェイトが拡大。

図1. コンテナ貨物量、申告件数、申告価格の推移



調査期間

47年調査：昭和47年10月21日～11月20日
 49年調査：昭和49年10月21日～11月20日
 53年調査：昭和53年10月1日～10月31日
 60年調査：昭和60年10月1日～10月31日
 5年調査：平成5年11月1日～11月30日
 10年調査：平成10年10月1日～10月31日
 15年調査：平成15年10月1日～10月31日
 20年調査：平成20年11月1日～11月30日
 元年調査：平成元年10月1日～10月31日

2. 調査の捕捉率

- ・調査期間中（平成20年11月）の海上コンテナ貿易額（輸出19,975億円、輸入19,710億円：財務省貿易統計より）に対する調査データ（輸出17,277億円、輸入16,392億円）の捕捉率は、84.8%（輸出：86.5%、輸入：83.2%）

表1 仕向国・仕出国別にみた申告価格の捕捉率

単位：百万円

輸 出				輸 入			
仕向国	コンテナ調査 金額(A)	貿易統計 金額(B)	捕捉率 (A / B)	仕出国	コンテナ調査 金額(A)	貿易統計 金額(B)	捕捉率 (A / B)
中 国	431,369	500,663	86.2%	中 国	727,207	876,161	83.0%
ア メ リ カ	302,596	342,043	88.5%	ア メ リ カ	157,349	191,988	82.0%
韓 国	111,389	130,007	85.7%	タ イ	93,456	109,184	85.6%
タ イ	104,906	121,346	86.5%	韓 国	86,453	102,883	84.0%
台 湾	89,560	109,860	81.5%	インドネシア	53,259	62,982	84.6%
オ ラ ン ダ	61,207	68,325	89.6%	台 湾	51,152	63,410	80.7%
ド イ ツ	51,007	57,437	88.8%	ド イ ツ	45,275	55,523	81.5%
インドネシア	49,378	57,248	86.3%	ベ ト ナ ム	34,319	39,682	86.5%
シンガポール	39,970	46,950	85.1%	オーストラリア	31,659	37,595	84.2%
マレーシア	36,060	43,521	82.9%	マレーシア	30,626	38,044	80.5%
そ の 他	450,300	520,067	86.6%	そ の 他	328,487	393,574	83.5%
合 計	1,727,742	1,997,468	86.5%	合 計	1,639,242	1,971,026	83.2%

注：中国には香港を含む

表2 品目別にみた申告価格の捕捉率

単位：百万円

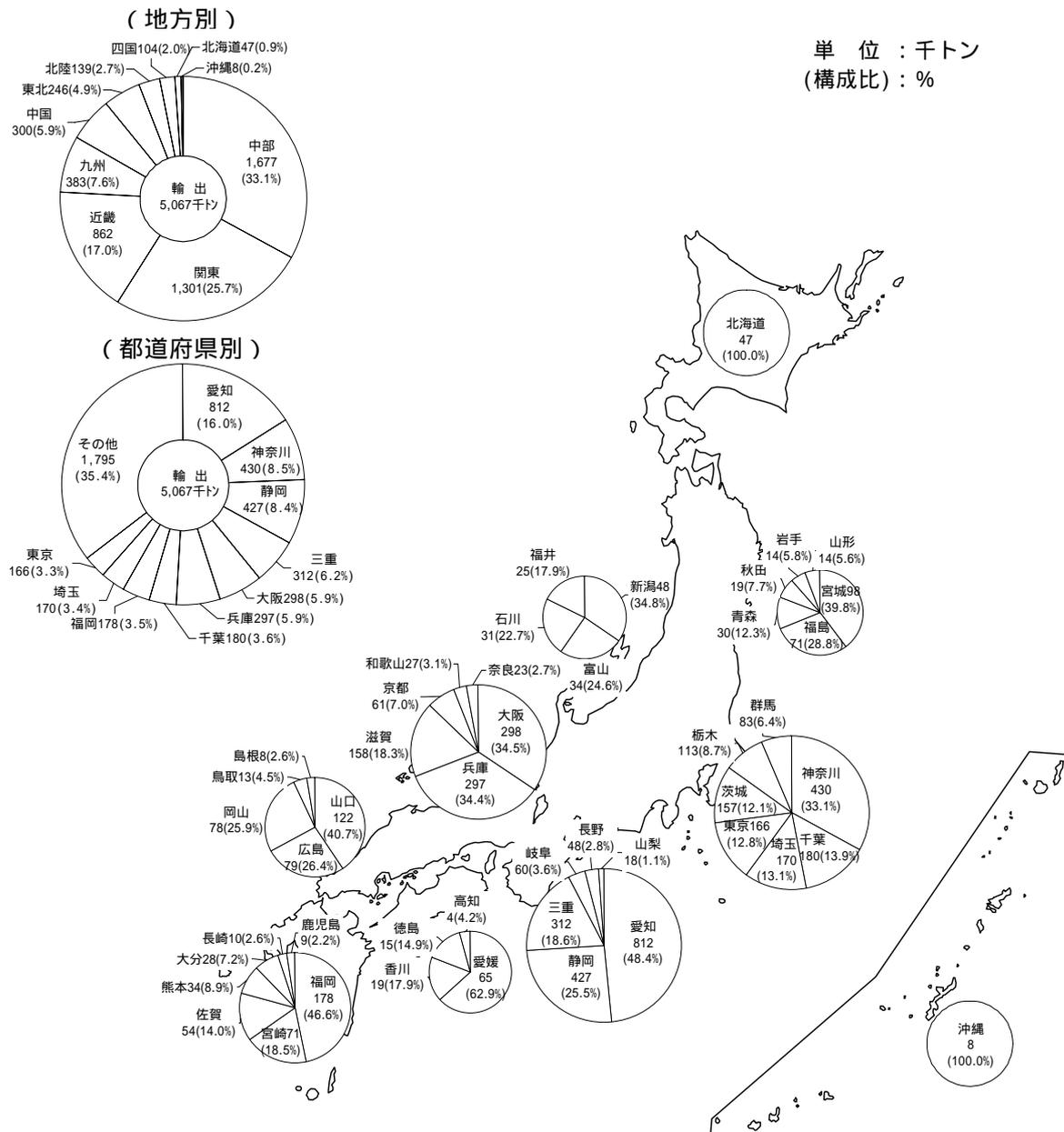
輸 出				輸 入			
品 目	コンテナ調査 金額(A)	貿易統計 金額(B)	捕捉率 (A / B)	品 目	コンテナ調査 金額(A)	貿易統計 金額(B)	捕捉率 (A / B)
機械類及び輸送 用 機 器 類	1,127,231	1,288,055	87.5%	機械類及び輸送 用 機 器 類	470,434	563,501	83.5%
原 料 別 製 品	243,502	292,602	83.2%	雑 製 品	330,125	408,149	80.9%
化 学 製 品	203,271	234,815	86.6%	食料品及び動物	249,868	298,531	83.7%
雑 製 品	102,317	120,524	84.9%	原 料 別 製 品	247,427	294,905	83.9%
食料に適さない 原 材 料	26,090	30,171	86.5%	化 学 製 品	184,225	227,164	81.1%
食料品及び動物	17,673	22,610	78.2%	食料に適さない 原 材 料	103,415	119,116	86.8%
そ の 他	7,658	8,691	88.1%	そ の 他	53,747	59,659	90.1%
合 計	1,727,742	1,997,468	86.5%	合 計	1,639,242	1,971,026	83.2%

3. コンテナ貨物の生産地、消費地

3-1. 生産地（輸出）

- ・生産地を都道府県別にみると、愛知県がシェア16.0%で最も多い。
- ・前回調査と比べシェアの拡大幅が大きいのは、三重県(4.4% 6.2% : 1.7ポイント増)、神奈川県(7.0% 8.5% : 1.5ポイント増)など。一方、シェアの減少幅が大きいのは、千葉県(5.2% 3.6% : 1.7ポイント減)、埼玉県(4.7% 3.4% : 1.3ポイント減)、広島県(2.8% 1.6% : 1.3ポイント減)など。
- ・地方別に貨物量をみると、中部、関東、近畿の順に多く、この3地方で全国の75.8%を占める(10年調査75.2%、15年調査76.1%)。
- ・前回調査と比較すると、九州、中部のシェアが各々1.9ポイント、1.7ポイント拡大。中部は引き続きシェアが拡大傾向にある。

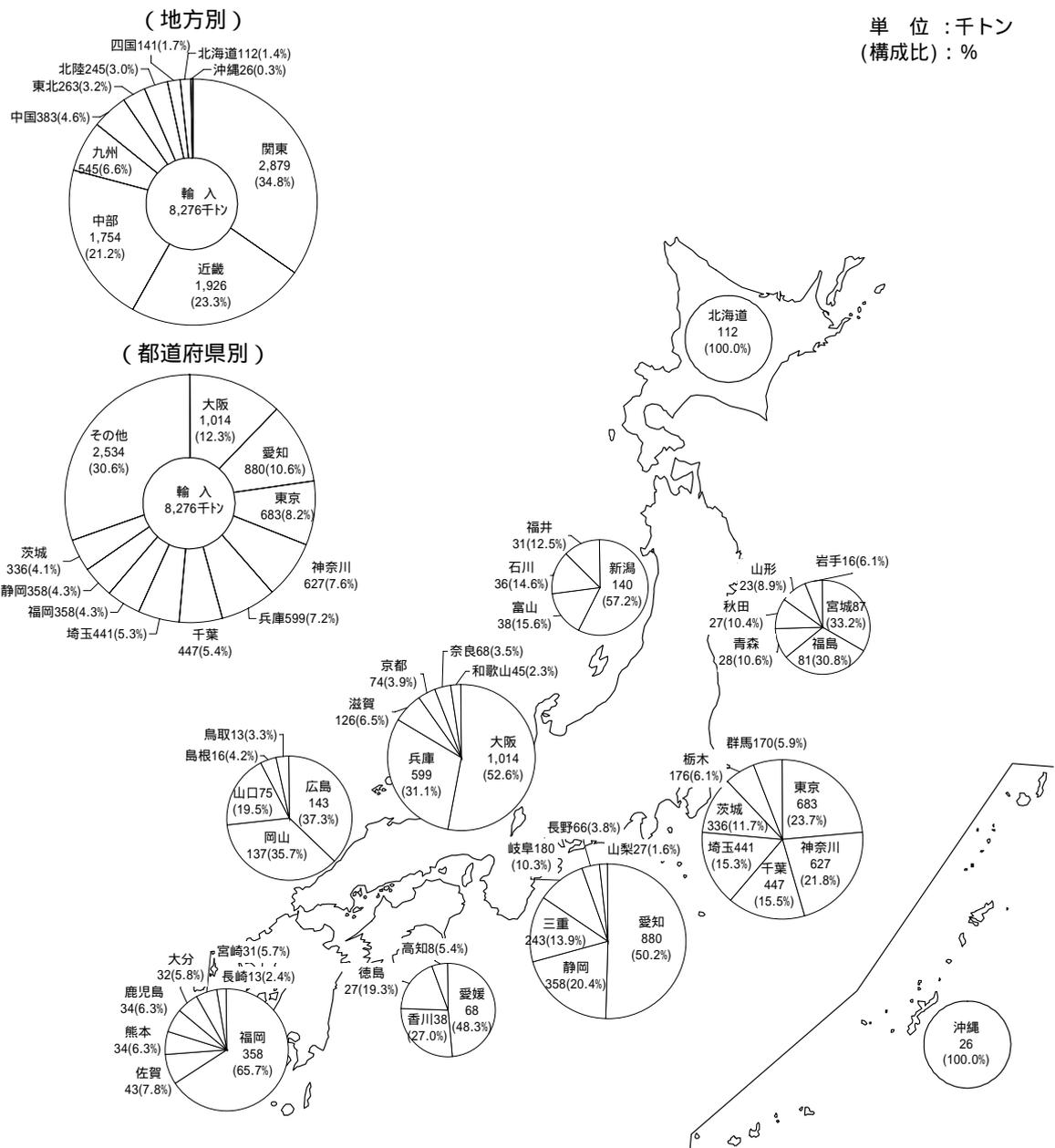
図2 生産地別コンテナ貨物量（輸出）



3 - 2 . 消費地（輸 入）

- ・消費地を都道府県別にみると、大阪府がシェア12.3%で最も多い。
- ・前回調査と比べシェアの拡大幅が大きいのは、兵庫県(6.2% 7.2% : 1.0ポイント増)、茨城県(3.2% 4.1% : 0.9ポイント増)など。一方、シェアの減少幅が大きいのは、東京都(10.1% 8.2% : 1.9ポイント減)、大阪府(13.7% 12.3% : 1.5ポイント減)など。
- ・地方別にみると、関東、近畿、中部の順に貨物量が多く、この3地方で全国の79.3%を占める(10年調査80.3%、15年調査79.3%)。
- ・前回調査と比較すると、関東のシェアが1.4ポイント拡大。一方、近畿は1.0ポイント低下。関東への集中傾向が再び強まっている。

図3 消費地別コンテナ貨物量（輸入）



3 - 3 . 前回調査との比較

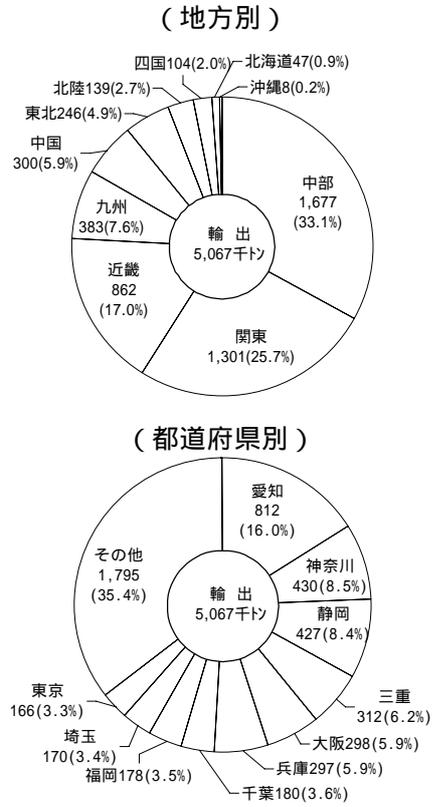
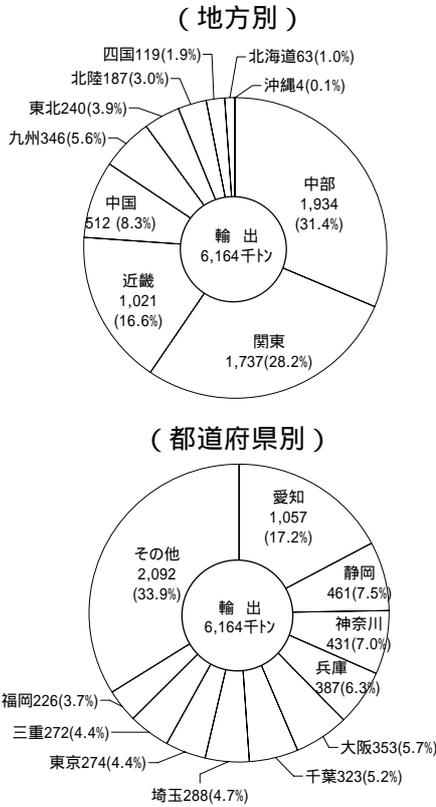
図4 生産地・消費地コンテナ貨物量の前回調査との比較

【平成15年】

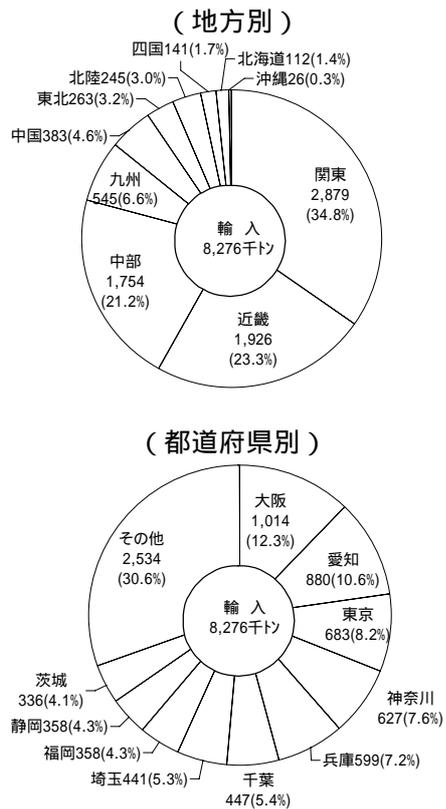
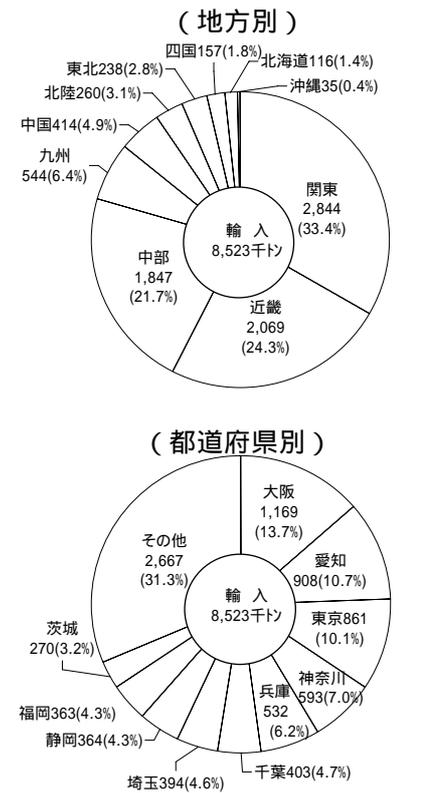
【平成20年】

〔輸出〕

単位：千トン
構成比：%



〔輸入〕



4 . コンテナ貨物の流動状況—その 1 -

4 - 1 . 輸 出

【生産地 詰め場所】

- ・北海道・東北の生産貨物は、68.4%が同地方内、28.1%は関東で詰め。
- ・関東、中部・北陸、近畿の生産貨物の90%以上は、同地方内で詰め。
- ・中国・四国・九州・沖縄の生産貨物は、85.9%が同地方内、12.6%が近畿で詰め。

【詰め場所 船積港】

- ・北海道・東北詰め貨物の船積港は、その他港(34.0%)〔仙台塩釜港(17.2%)、秋田港(5.6%)など〕、横浜港(26.9%)、東京港(26.1%)、苫小牧港(11.9%)などであり、前回調査に比べ、苫小牧港(前回20.5%)の比率が低下。
- ・関東詰め貨物の船積港は横浜港(56.7%)、東京港(40.6%)などであり、横浜港(前回46.2%)の比率が拡大し、東京港(前回50.2%)の比率は低下。
- ・中部・北陸詰め貨物の船積港は、名古屋港(65.1%)、清水港(15.6%)、四日市港(5.5%)、横浜港(4.9%)などで、前回調査と比較すると、横浜港(前回3.4%)、四日市港(同2.5%)の比率が高まり、名古屋港(同66.7%)、清水港(同17.1%)の比率は低下。
- ・近畿詰め貨物の船積港は、神戸港(64.7%)、大阪港(29.2%)などであり、前回調査に比べ、大阪港(前回26.8%)の比率が拡大。
- ・中国・四国・九州・沖縄詰め貨物の船積港は、博多港(39.6%)、その他港(25.6%)〔広島港(4.0%)、水島港(3.6%)など〕、北九州港(16.0%)、神戸港(15.7%)などであり、前回調査に比べ博多港(前回17.9%)の比率が大幅に高まり、その他港(同39.3%)、北九州港(同22.9%)の比率は低下。

(注)その他港：苫小牧港、東京港、横浜港、清水港、名古屋港、四日市港、大阪港、
神戸港、下関港、北九州港、博多港以外の港湾

図5 コンテナ貨物の流動状況（輸出） - （生産地～詰め場所～船積港） -

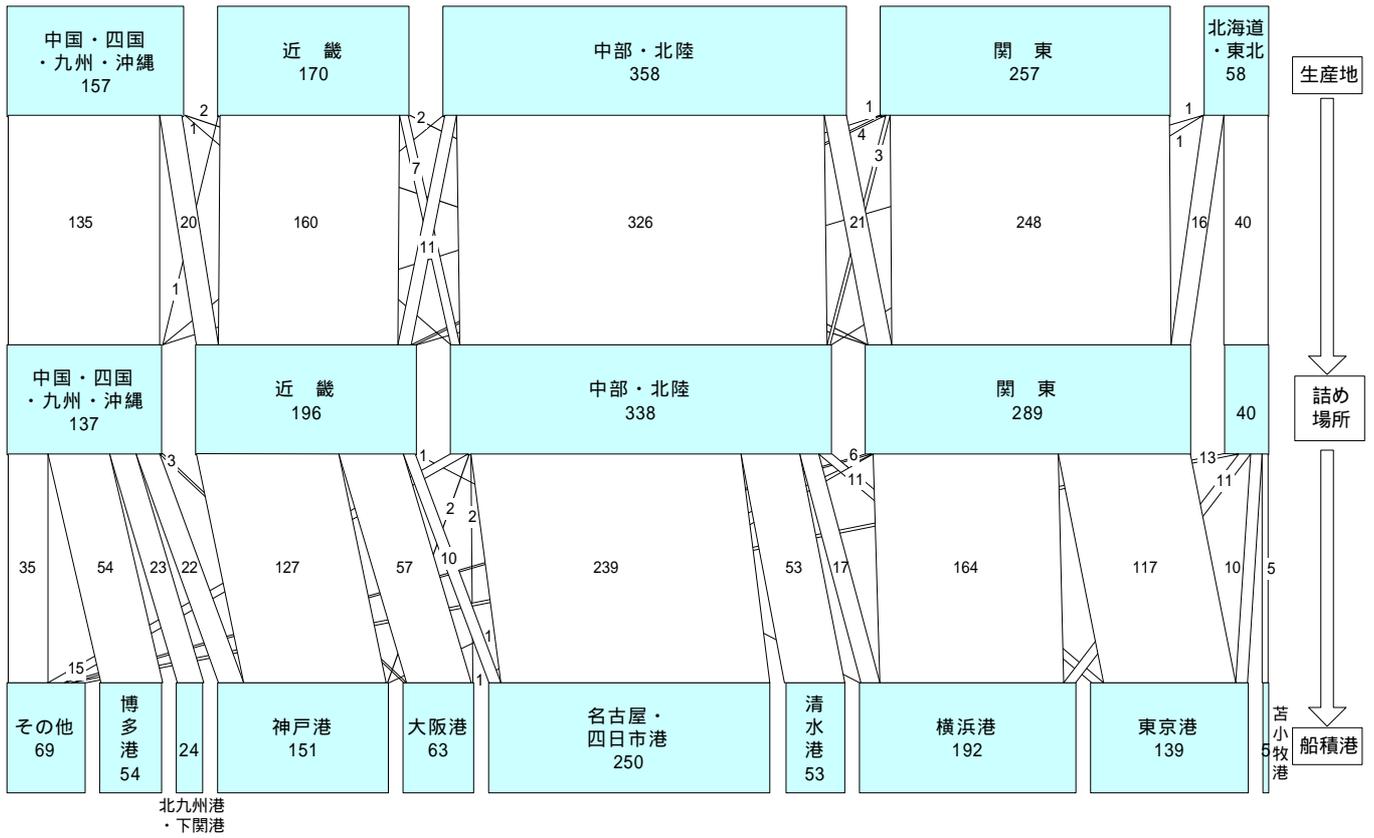
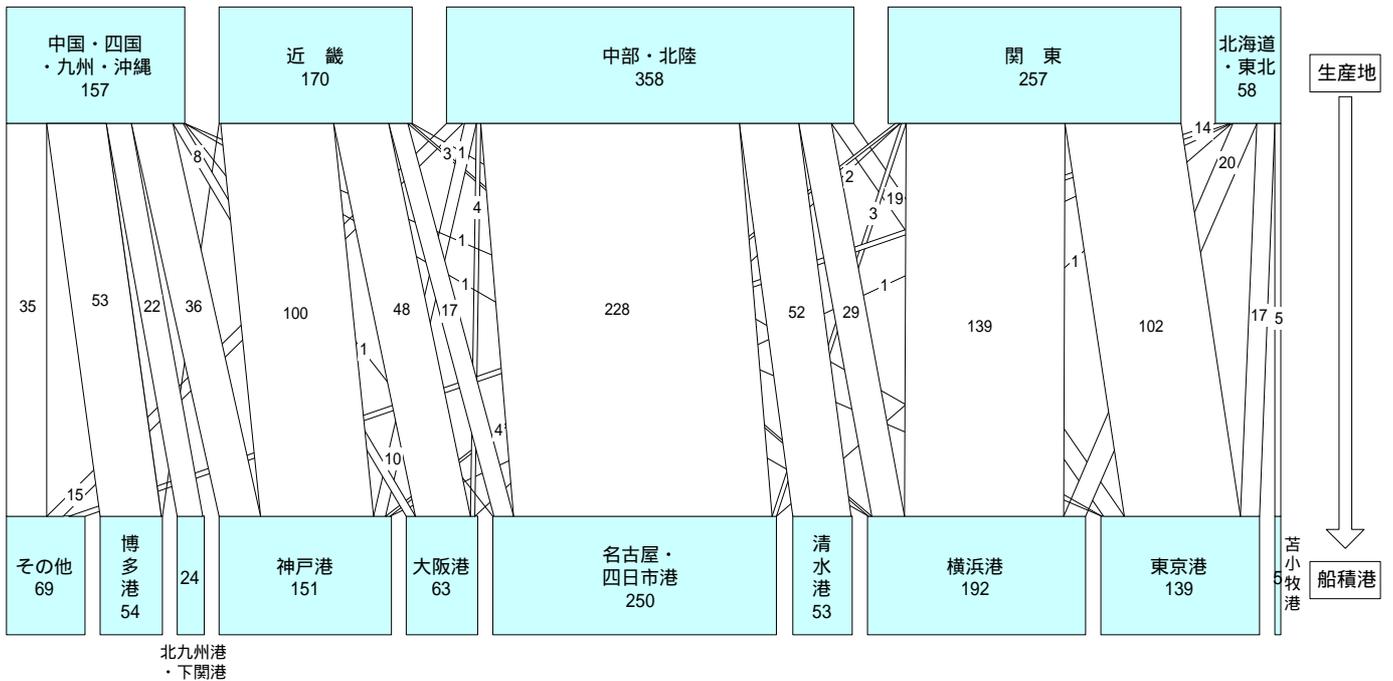


図6 コンテナ貨物の流動状況（輸出） - （生産地～船積港） -



注) 期間中に全国の港から輸出された貨物 5,066,596 トンを 1,000 とした。

4 - 2 . 輸 入

【船卸港 取出場所】

- ・北海道・東北の取出貨物の船卸港は、その他港(43.8%)〔仙台塩釜港(13.0%)、秋田港(7.7%)など〕、東京港(23.4%)、苫小牧港(19.2%)、横浜港(12.7%)などであり、前回調査と比較すると、苫小牧港(前回24.9%)、その他港(同41.3%)の比率が低下。
- ・関東取出貨物の船卸港は、東京港(66.4%)、横浜港(31.8%)などで、前回調査に比べ東京港(前回62.5%)の比率が拡大。
- ・中部・北陸取出貨物の船卸港は、名古屋港(66.4%)、その他港(10.4%)〔新潟港(5.2%)、伏木富山港(1.4%)など〕、清水港(10.2%)、横浜港(3.7%)、四日市港(3.7%)などで、前回調査に比べ、名古屋港(前回65.8%)、その他港(同9.8%)の比率がやや拡大。
- ・近畿取出貨物は、58.4%は大阪港、37.5%は神戸港で船卸し。前回調査と比較すると、大阪港(前回57.7%)の比率がやや拡大。
- ・中国・四国・九州・沖縄取出貨物の船卸港は、その他港(33.7%)〔広島港(6.1%)、水島港(4.8%)など〕、博多港(27.3%)、北九州港(18.5%)、神戸港(14.2%)などで、前回調査に比べ、博多港(前回23.8%)、神戸港(同12.4%)の比率が拡大。

【取出場所 消費地】

- ・関東、中部・北陸、近畿、中国・四国・九州・沖縄の消費貨物の95%以上は、同地方内で取出し。
- ・北海道・東北の消費貨物も、90.5%は同地方内で取出し。
- ・輸出と比較すると、総じて消費地と同じ地方で取り出されている比率が高い。

図7 コンテナ貨物の流動状況（輸入） - （船卸港～取出場所～消費地） -

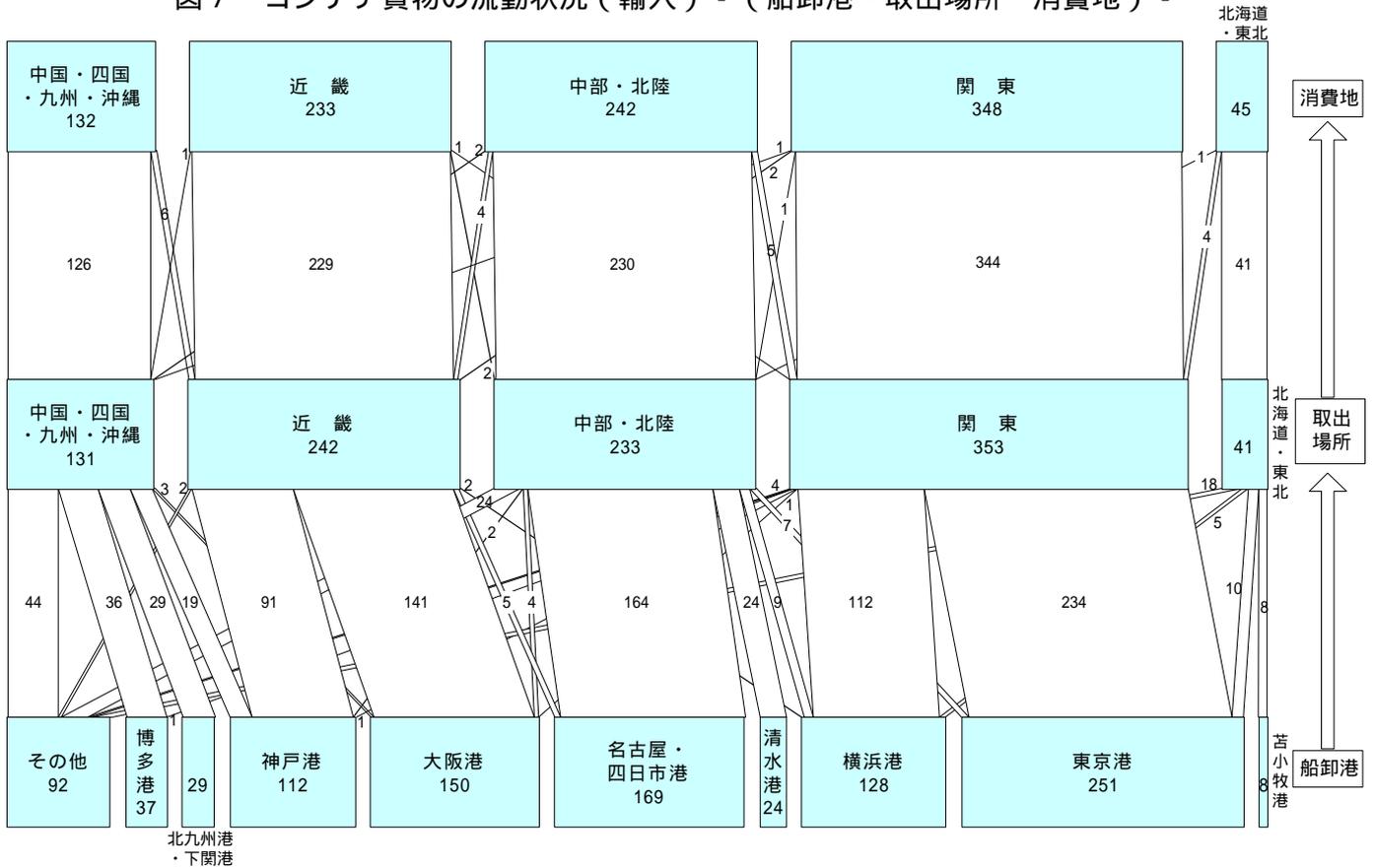
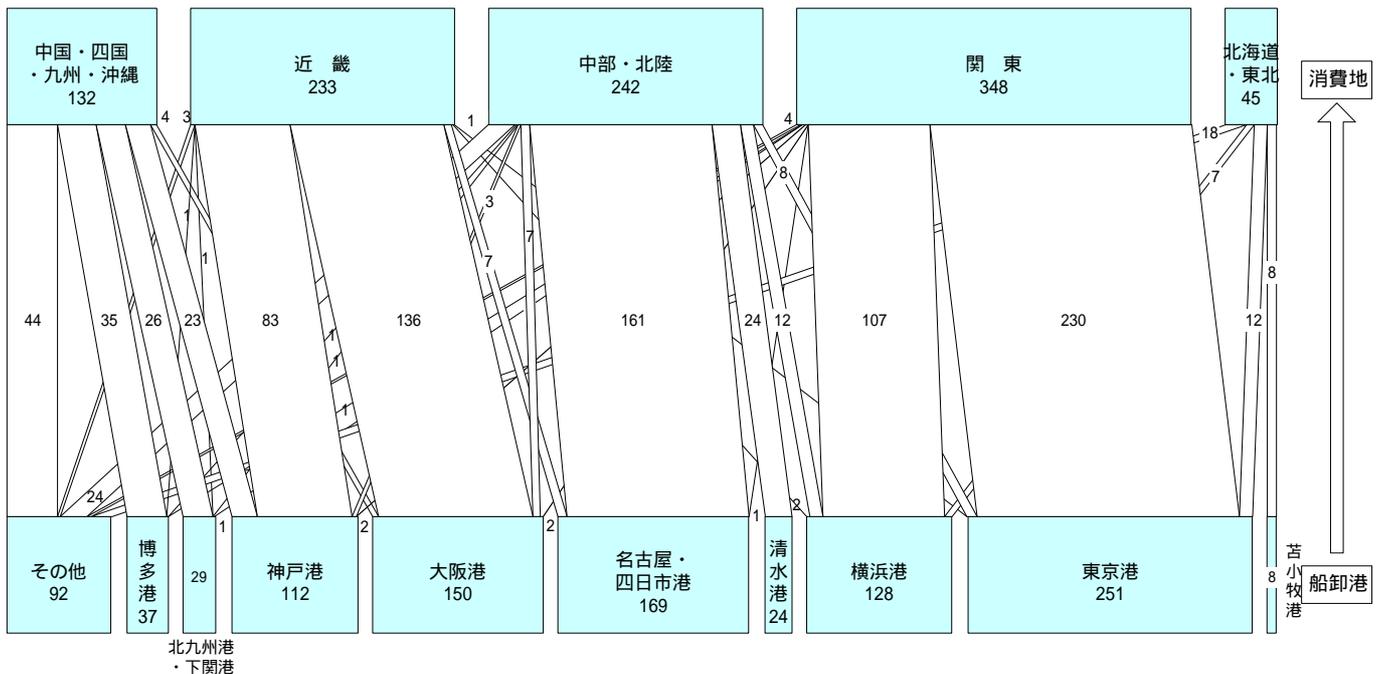


図8 コンテナ貨物の流動状況（輸入） - （船卸港～消費地） -



注) 期間中に全国の港に輸入された貨物 8,275,634 トンを 1,000 とした。

表3 生産地・消費地別船積港・船卸港別コンテナ貨物量シェア

(単位：トン、%)

生産地 消費地	船積港	輸 出				船卸港	輸 入			
		平成20年		平成15年			平成20年		平成15年	
		貨物量	構成比	貨物量	構成比		貨物量	構成比	貨物量	構成比
北海道	苫小牧港	23,860	50.6%	39,555	63.1%	苫小牧港	65,169	58.0%	79,322	68.6%
	横 浜 港	6,202	13.2%	6,895	11.0%	石狩湾新港	17,624	15.7%	12,360	10.7%
	石狩湾新港	4,320	9.2%	4,555	7.3%	東 京 港	8,340	7.4%	4,574	4.0%
	東 京 港	4,125	8.8%	4,800	7.7%	横 浜 港	6,955	6.2%	5,985	5.2%
	東 室 蘭 港	3,478	7.4%	2,171	3.5%	釧 路 港	5,725	5.1%	2,934	2.5%
	地域内他港	3,823	8.1%	3,073	4.9%	地域内他港	5,644	5.0%	5,360	4.6%
	地域外他港	1,328	2.8%	1,645	2.6%	地域外他港	2,973	2.6%	5,158	4.5%
	計	47,136	100.0%	62,694	100.0%	計	112,430	100.0%	115,693	100.0%
東 北	横 浜 港	96,983	39.4%	78,608	32.7%	東 京 港	87,671	33.4%	76,608	32.2%
	東 京 港	81,253	33.0%	83,666	34.8%	横 浜 港	48,807	18.6%	46,290	19.5%
	仙台塩釜港	34,443	14.0%	45,651	19.0%	仙台塩釜港	43,843	16.7%	41,650	17.5%
	秋 田 港	11,308	4.6%	8,743	3.6%	秋 田 港	26,160	10.0%	30,745	12.9%
	八 戸 港	5,226	2.1%	7,921	3.3%	八 戸 港	23,359	8.9%	15,846	6.7%
	地域内他港	4,283	1.7%	8,015	3.3%	地域内他港	10,130	3.9%	14,704	6.2%
	地域外他港	12,736	5.2%	7,655	3.2%	地域外他港	22,871	8.7%	12,126	5.1%
	計	246,232	100.0%	240,259	100.0%	計	262,841	100.0%	237,969	100.0%
関 東	横 浜 港	703,187	54.1%	753,943	43.4%	東 京 港	1,906,500	66.2%	1,746,023	61.4%
	東 京 港	516,612	39.7%	839,054	48.3%	横 浜 港	885,382	30.8%	962,422	33.8%
	神 戸 港	20,543	1.6%	48,025	2.8%	大 阪 港	20,508	0.7%	32,593	1.1%
	川 崎 港	17,805	1.4%	21,743	1.3%	神 戸 港	13,809	0.5%	34,117	1.2%
	名古屋屋港	15,739	1.2%	36,061	2.1%	千 葉 港	13,147	0.5%	27,511	1.0%
	地域内他港	10,344	0.8%	4,646	0.3%	地域内他港	14,358	0.5%	11,744	0.4%
	地域外他港	16,399	1.3%	33,512	1.9%	地域外他港	25,348	0.9%	29,387	1.0%
	計	1,300,629	100.0%	1,736,984	100.0%	計	2,879,052	100.0%	2,843,797	100.0%
北 陸	神 戸 港	26,776	19.3%	46,838	25.0%	新 潟 港	95,498	38.9%	109,924	42.3%
	名古屋屋港	22,732	16.4%	19,173	10.2%	伏木富山港	26,892	11.0%	23,929	9.2%
	新 潟 港	18,249	13.1%	20,500	11.0%	大 阪 港	23,254	9.5%	20,113	7.7%
	横 浜 港	17,947	12.9%	26,913	14.4%	東 京 港	21,804	8.9%	20,196	7.8%
	伏木富山港	17,267	12.4%	20,884	11.2%	金 沢 港	20,516	8.4%	22,325	8.6%
	地域内他港	17,095	12.3%	19,285	10.3%	地域内他港	12,928	5.3%	11,515	4.4%
	地域外他港	18,726	13.5%	33,537	17.9%	地域外他港	44,373	18.1%	51,969	20.0%
	計	138,792	100.0%	187,130	100.0%	計	245,265	100.0%	259,971	100.0%
中 部	名古屋屋港	1,036,295	61.8%	1,232,745	63.7%	名古屋屋港	1,248,302	71.2%	1,299,697	70.4%
	清 水 港	265,776	15.8%	329,617	17.0%	清 水 港	196,521	11.2%	212,499	11.5%
	横 浜 港	131,880	7.9%	94,707	4.9%	横 浜 港	87,198	5.0%	75,096	4.1%
	四 日 市 港	93,851	5.6%	75,464	3.9%	四 日 市 港	68,806	3.9%	75,346	4.1%
	東 京 港	83,962	5.0%	136,342	7.0%	東 京 港	46,854	2.7%	69,956	3.8%
	地域内他港	20,580	1.2%	3,074	0.2%	地域内他港	30,372	1.7%	20,184	1.1%
	地域外他港	44,831	2.7%	62,122	3.2%	地域外他港	75,689	4.3%	94,128	5.1%
	計	1,677,175	100.0%	1,934,071	100.0%	計	1,753,742	100.0%	1,846,906	100.0%
近 畿	神 戸 港	505,634	58.6%	604,616	59.2%	大 阪 港	1,124,679	58.4%	1,197,618	57.9%
	大 阪 港	244,215	28.3%	268,250	26.3%	神 戸 港	690,914	35.9%	732,174	35.4%
	名古屋屋港	72,969	8.5%	80,413	7.9%	名古屋屋港	42,554	2.2%	54,703	2.6%
	四 日 市 港	14,826	1.7%	19,118	1.9%	横 浜 港	15,258	0.8%	5,769	0.3%
	横 浜 港	13,021	1.5%	12,746	1.2%	四 日 市 港	12,507	0.6%	16,607	0.8%
	地域内他港	370	0.0%	5,538	0.5%	地域内他港	15,584	0.8%	27,105	1.3%
	地域外他港	11,397	1.3%	30,809	3.0%	地域外他港	24,781	1.3%	34,832	1.7%
	計	862,432	100.0%	1,021,490	100.0%	計	1,926,277	100.0%	2,068,808	100.0%
中 国	神 戸 港	98,883	33.0%	153,340	29.9%	神 戸 港	114,568	29.9%	110,826	26.8%
	北九州港	45,712	15.3%	46,942	9.2%	広 島 港	62,508	16.3%	59,686	14.4%
	広 島 港	25,561	8.5%	84,220	16.4%	水 島 港	48,327	12.6%	45,747	11.1%
	水 島 港	22,336	7.5%	40,961	8.0%	福 山 港	47,388	12.4%	64,090	15.5%
	徳山下松港	21,479	7.2%	54,626	10.7%	北九州港	41,501	10.8%	32,958	8.0%
	地域内他港	39,792	13.3%	90,834	17.7%	地域内他港	43,312	11.3%	57,155	13.8%
	地域外他港	45,765	15.3%	41,124	8.0%	地域外他港	25,659	6.7%	43,182	10.4%
	計	299,528	100.0%	512,047	100.0%	計	383,263	100.0%	413,644	100.0%
四 国	神 戸 港	55,903	54.0%	61,115	51.3%	神 戸 港	60,812	43.2%	71,221	45.4%
	大 阪 港	18,186	17.6%	15,596	13.1%	高 松 港	16,817	11.9%	15,634	10.0%
	松 山 港	9,206	8.9%	16,235	13.6%	大 阪 港	12,840	9.1%	19,263	12.3%
	今 治 港	5,515	5.3%	9,142	7.7%	三 島 川之江港	12,109	8.6%	6,699	4.3%
	高 松 港	3,027	2.9%	1,600	1.3%	松 山 港	10,180	7.2%	16,539	10.5%
	地域内他港	6,008	5.8%	6,743	5.7%	地域内他港	18,777	13.3%	20,339	13.0%
	地域外他港	5,732	5.5%	8,665	7.3%	地域外他港	9,386	6.7%	7,160	4.6%
	計	103,577	100.0%	119,096	100.0%	計	140,921	100.0%	156,855	100.0%
九 州	博 多 港	249,002	65.0%	141,700	40.9%	博 多 港	281,870	51.7%	252,818	46.4%
	北九州港	61,725	16.1%	140,987	40.7%	北九州港	151,863	27.8%	182,716	33.6%
	神 戸 港	27,503	7.2%	23,186	6.7%	志 布 志 港	35,575	6.5%	22,603	4.2%
	大 分 港	11,876	3.1%	4,854	1.4%	伊 万 里 港	18,362	3.4%	12,244	2.2%
	八 代 港	6,876	1.8%	295	0.1%	神 戸 港	14,469	2.7%	12,275	2.3%
	地域内他港	14,925	3.9%	16,386	4.7%	地域内他港	24,363	4.5%	44,222	8.1%
	地域外他港	10,947	2.9%	18,787	5.4%	地域外他港	18,912	3.5%	17,556	3.2%
	計	382,854	100.0%	346,195	100.0%	計	545,414	100.0%	544,434	100.0%
沖 縄	那 覇 港	8,144	98.8%	4,273	97.5%	那 覇 港	24,485	92.6%	31,687	90.2%
	博 多 港	52	0.6%	1	0.0%	神 戸 港	955	3.6%	830	2.4%
	大 阪 港	33	0.4%	16	0.4%	博 多 港	716	2.7%	1,489	4.2%
	神 戸 港	7	0.1%	59	1.3%	大 阪 港	187	0.7%	714	2.0%
	東 京 港	5	0.1%	32	0.7%	東 京 港	63	0.2%	94	0.3%
	地域内他港	0	0.0%	0	0.0%	地域内他港	0	0.0%	128	0.4%
	地域外他港	0	0.0%	0	0.0%	地域外他港	23	0.1%	177	0.5%
	計	8,241	100.0%	4,381	100.0%	計	26,429	100.0%	35,119	100.0%
全 国	名古屋屋港	1,156,859	22.8%	1,348,450	21.9%	東 京 港	2,080,095	25.1%	1,928,272	22.6%
	横 浜 港	974,710	19.2%	978,713	15.9%	名古屋屋港	1,316,044	15.9%	1,388,209	16.3%
	神 戸 港	765,194	15.1%	975,404	15.8%	大 阪 港	1,243,550	15.0%	1,375,410	16.1%
	東 京 港	706,734	13.9%	1,105,260	17.9%	横 浜 港	1,060,379	12.8%	1,110,275	13.0%
	大 阪 港	317,984	6.3%	372,159	6.0%	神 戸 港	923,756	11.2%	998,938	11.7%
	そ の 他 港	1,145,115	22.6%	1,384,361	22.5%	そ の 他 港	1,651,810	20.0%	1,722,092	20.2%
	計	5,066,596	100.0%	6,164,347	100.0%	計	8,275,634	100.0%	8,523,196	100.0%

5 . コンテナ貨物の流動状況—その2 -

5 - 1 . 輸 出

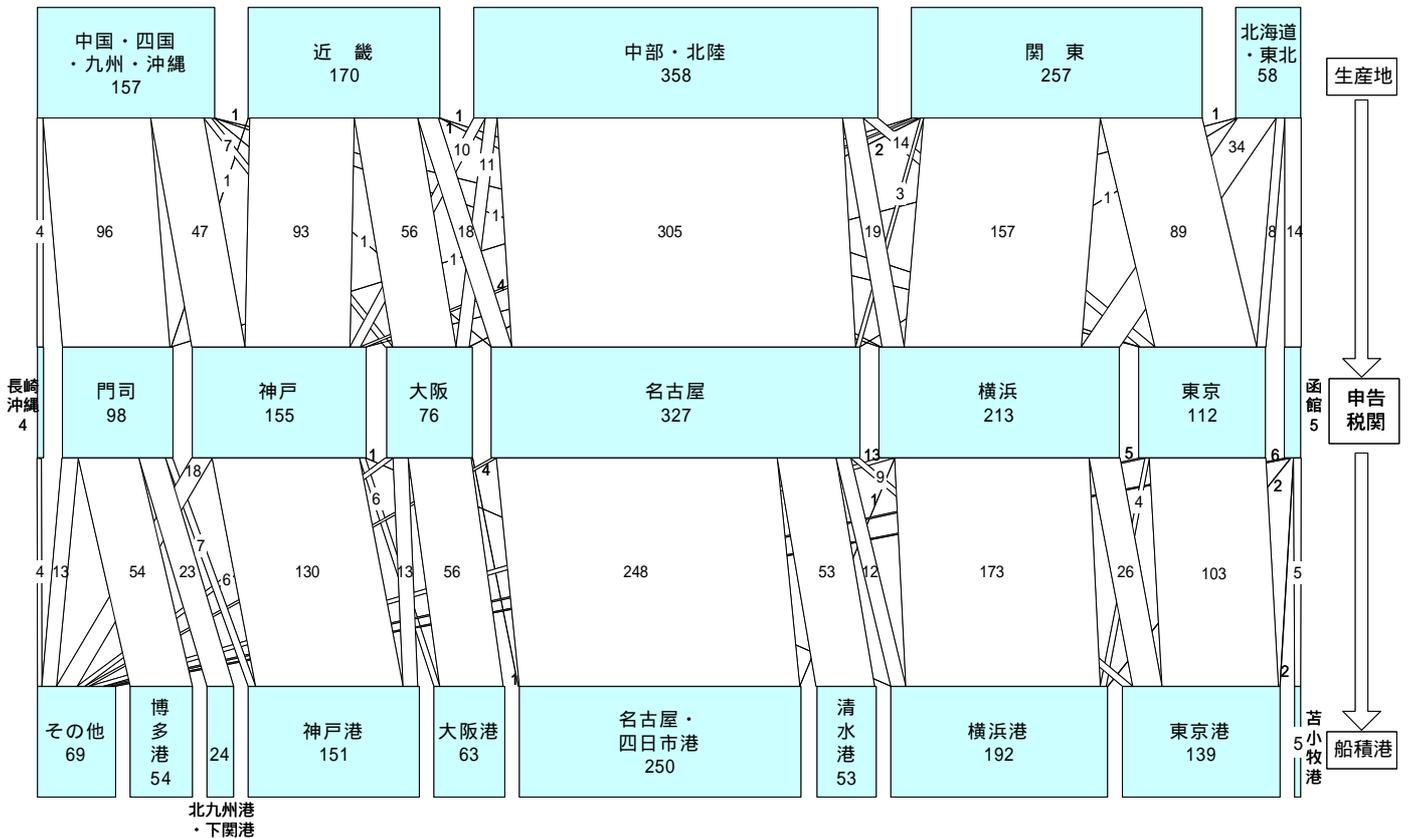
【生産地 申告税関】

- ・北海道・東北生産貨物の申告税関は、横浜、函館、東京の各税関に分散。
- ・関東生産貨物の61.3%横浜税関、34.8%は東京税関で通関。
- ・中部・北陸生産貨物は、名古屋税関で85.0%が通関。
- ・近畿生産貨物は、神戸税関で54.9%、大阪税関で33.0%が通関。
- ・中国・四国・九州・沖縄生産貨物は、門司税関で61.1%、神戸税関で30.0%が通関。

【申告税関 船積港】

- ・東京税関通関貨物は、91.6%が東京港積み。
- ・横浜税関通関貨物は横浜港積みが81.4%で、前回調査(73.4%)に船積比率が拡大。
- ・名古屋税関通関貨物は、名古屋港(76.0%)、清水港(16.1%)、四日市港(6.5%)などで船積み。
- ・神戸税関通関貨物の船積港は、神戸港(84.1%)、その他港(11.4%)〔広島港、水島港など〕、大阪港(3.7%)の順で、その他港積みの比率が前回(16.6%)に比べ低下。
- ・大阪税関通関貨物は、73.3%が大阪港、17.2%が神戸港積み。
- ・門司税関通関貨物は、博多港(55.0%)、北九州港(23.9%)、その他港(13.5%)〔岩国港、徳山下松港など〕の順で、博多港積みの比率が前回(26.6%)に比べ拡大。

図9 コンテナ貨物の流動状況(輸出) - (生産地 ~ 申告税関 ~ 船積港) -



注：1 . 期間中に全国の港から輸出された貨物 5,066,596 トンを 1,000 とした。
 2 . 申告税関とは、当該税関の本関及び管轄する支署・出張所等を指す。

5 - 2 . 輸 入

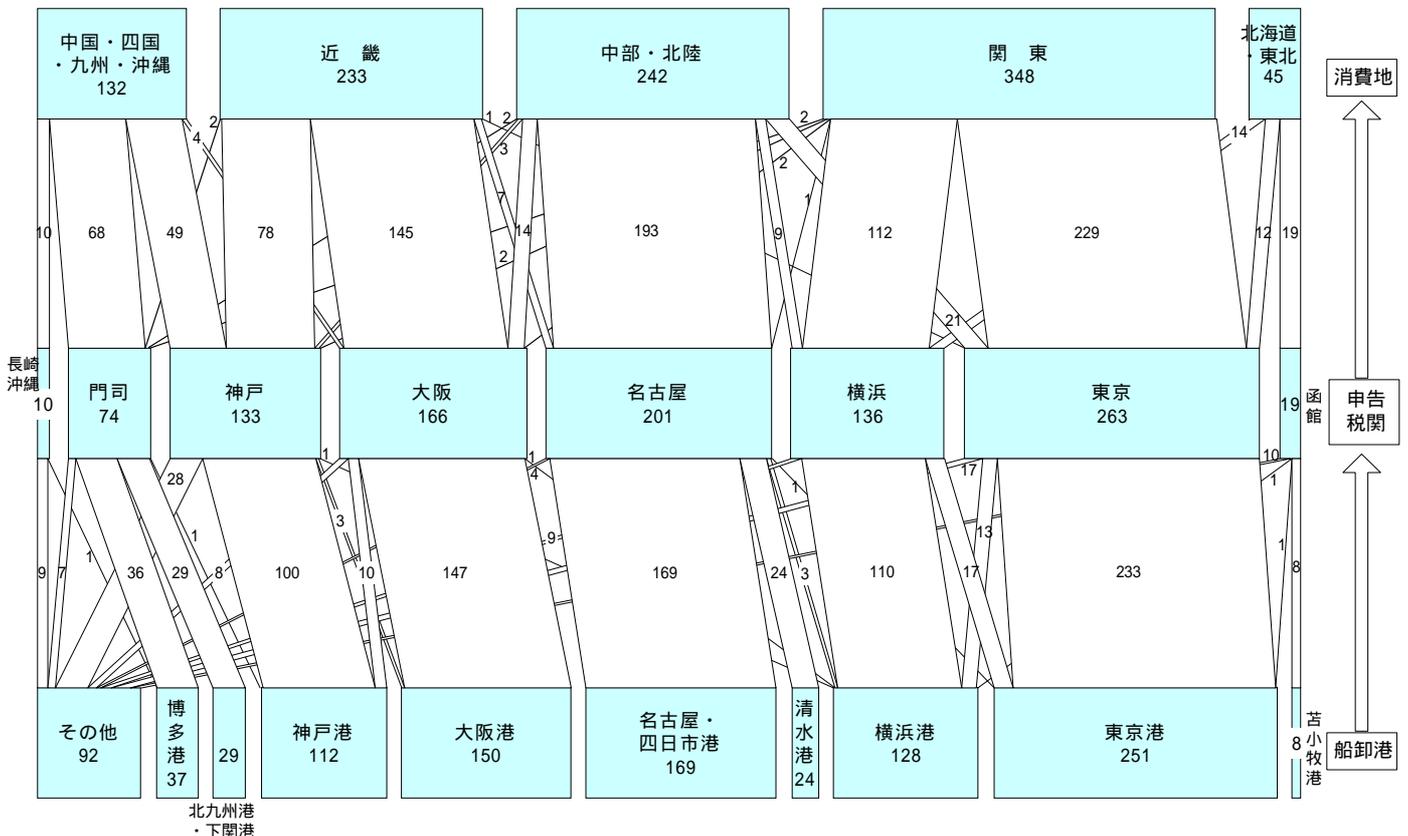
【船卸港 申告税関】

- ・ 東京税関通関貨物は、88.6%が東京港卸し。
- ・ 横浜税関通関貨物は横浜港で80.6%、東京港で12.5%が船卸し。
- ・ 名古屋税関通関貨物は、名古屋港(84.1%)、清水港(11.9%)、四日市港(4.9%などで船卸し。
- ・ 神戸税関通関貨物は、神戸港で75.7%、その他港〔広島港、水島港など〕で21.4%が船卸し。
- ・ 大阪税関通関貨物の船卸港は、88.7%が大阪港で、前回(85.8%)に比べ船積比率が拡大。
- ・ 門司税関通関貨物の船卸港は、博多港(49.1%)、北九州港(39.1%)、その他港(9.5%)〔岩国港、徳山下松港など〕の順で、博多港卸しの比率が前回(42.1%)に比べ拡大。

【申告税関 消費地】

- ・ 北海道・東北消費貨物の申告税関は、輸出と同様に、横浜、函館、東京の各税関に分散。
- ・ 関東消費貨物の65.7%は東京税関、32.3%は横浜税関で通関。
- ・ 中部・北陸消費貨物は、名古屋税関で79.9%が通関。
- ・ 近畿消費貨物は、大阪税関で62.4%、神戸税関で33.6%が通関。
- ・ 中国・四国・九州・沖縄消費貨物は、門司税関で51.5%、神戸税関で37.3%が通関。

図 10 コンテナ貨物の流動状況（輸入） - （船卸港～申告税関～消費地） -



注：1．期間中に全国の港に輸入された貨物 8,275,634 トンを 1,000 とした。
 2．申告税関とは、当該税関の本関及び管轄する支署・出張所等を指す。

6. 距離帯別生産地・消費地分布

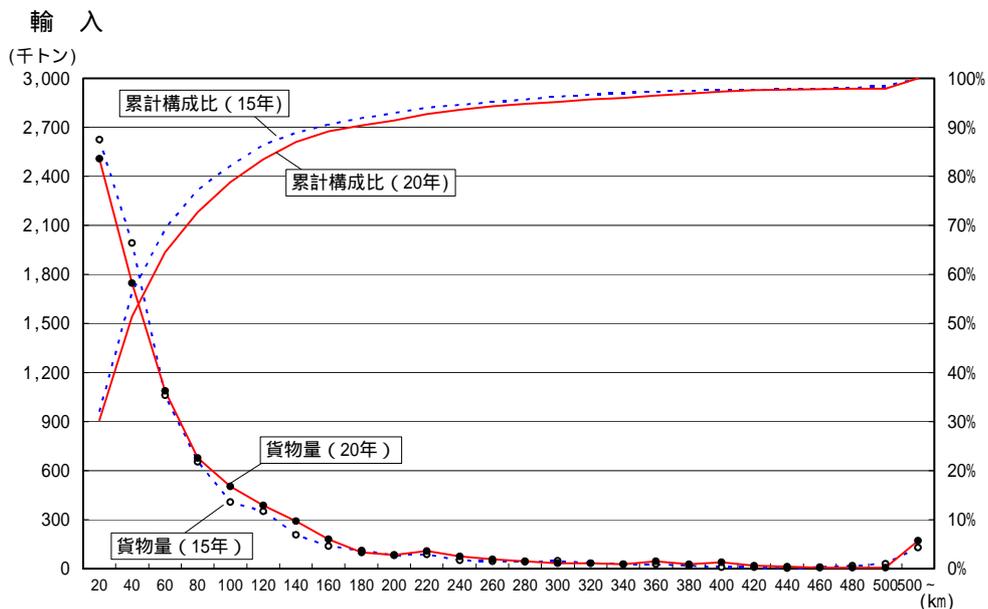
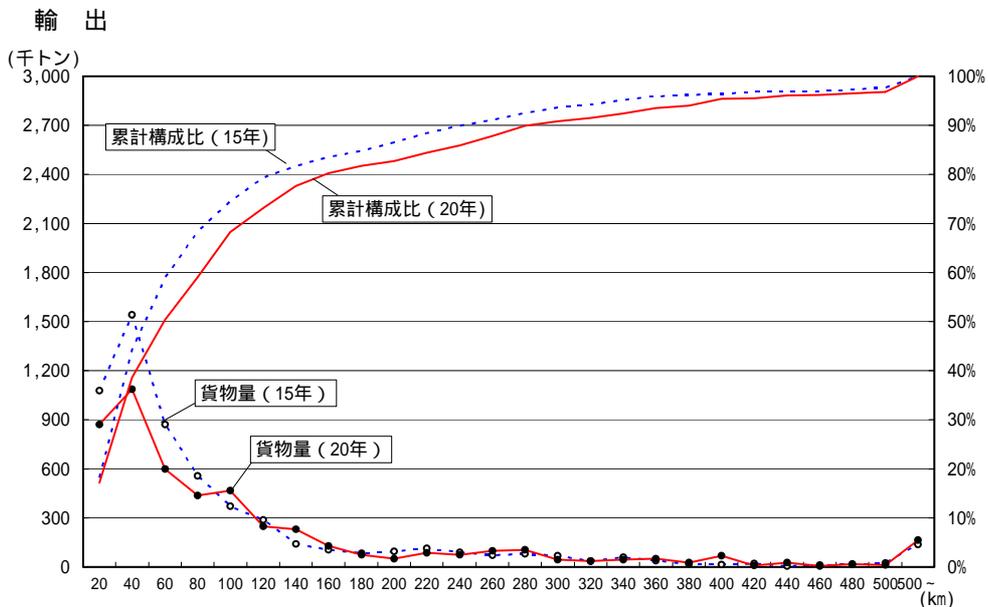
【輸 出】

- ・生産地から船積港までの距離帯別にコンテナ貨物量をみると、60 km未満の比率が50.4%、100 km未満の比率が68.3%、200 km未満の比率が82.7%。前回調査と比較すると、とりわけ60 km未満の貨物の減少(8.4ポイント)が顕著。

【輸 入】

- ・船卸港から消費地までの距離帯別にコンテナ貨物量をみると、60 km未満の比率が64.6%、100 km未満の比率が78.9%、200 km未満の比率が91.4%。輸出に比べ、近距離輸送の貨物の比率が大きい。
- ・前回調査と比較すると、輸出ほどではないが近距離輸送の貨物の比率が低下(60 km未満：4.6ポイント低下)。

図 1 1 生産地・消費地～船積港・船卸湾間の距離帯別コンテナ貨物量



注：生産地・消費地区分は市区町村レベル。

7. コンテナ貨物の主な輸送手段

【輸出】

- ・ 詰め場所(バンニング場所)から船積場所までの主な輸送手段は、トレーラが95.2%。はしけ・船舶・フェリーの利用率は4.1%で前回(1.9%)の約2倍に拡大。
- ・ 詰め場所から船積場所まではしけ・船舶・フェリーで輸送された貨物は、神戸港積み、横浜港積み、東京港積みで約90%。

【輸入】

- ・ 船卸場所から取出場所(デバンニング場所)までの主な輸送手段は、トレーラが97.9%。はしけ・船舶・フェリーの利用率(1.2%)は、前回に比べ0.7ポイント拡大。
- ・ 船卸場所から取出場所まではしけ・船舶・フェリーで輸送された貨物は、神戸港卸しが38.6%を占め、以下、横浜港(34.7%)、東京港(13.9%)の順。

図12 コンテナ貨物の主な輸送手段(貨物量割合)

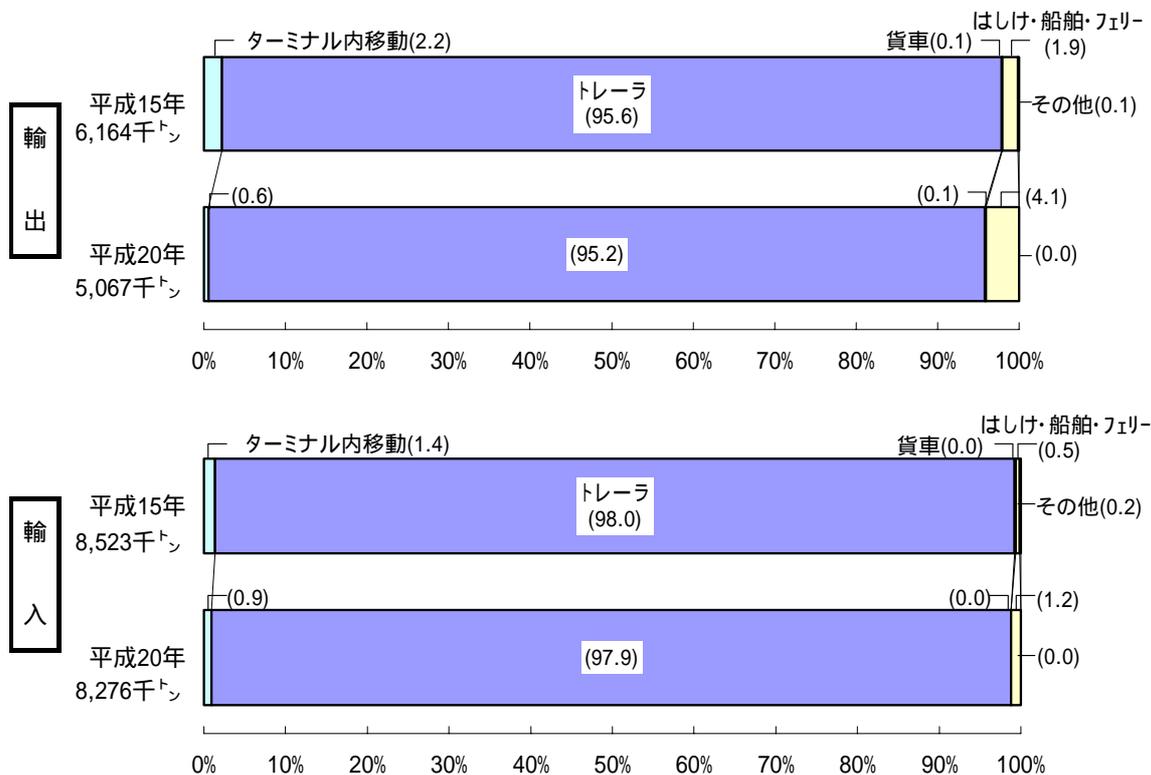


表4 はしけ・船舶・フェリー利用貨物の船積港・船卸港

(単位:トン)

船積港	輸 出				船卸港	輸 入			
	平成20年		平成15年			平成20年		平成15年	
	貨物量	構成比	貨物量	構成比	貨物量	構成比	貨物量	構成比	
神戸港	72,828	35.2%	65,367	54.8%	神戸港	37,441	38.6%	13,707	34.7%
横浜港	64,448	31.2%	12,026	10.1%	横浜港	33,649	34.7%	4,403	11.2%
東京港	51,124	24.7%	30,798	25.8%	東京港	13,480	13.9%	7,150	18.1%
大阪港	6,823	3.3%	8,623	7.2%	博多港	4,041	4.2%	1,534	3.9%
北九州港	5,873	2.8%	817	0.7%	広島港	3,249	3.3%	576	1.5%
その他港	5,653	2.7%	1,695	1.4%	その他港	5,153	5.3%	12,112	30.7%
合 計	206,749	100.0%	119,326	100.0%	合 計	97,013	100.0%	39,482	100.0%

注) 主な輸送手段が「はしけ・船舶・フェリー」である貨物に限定

8 . 税関別申告状況

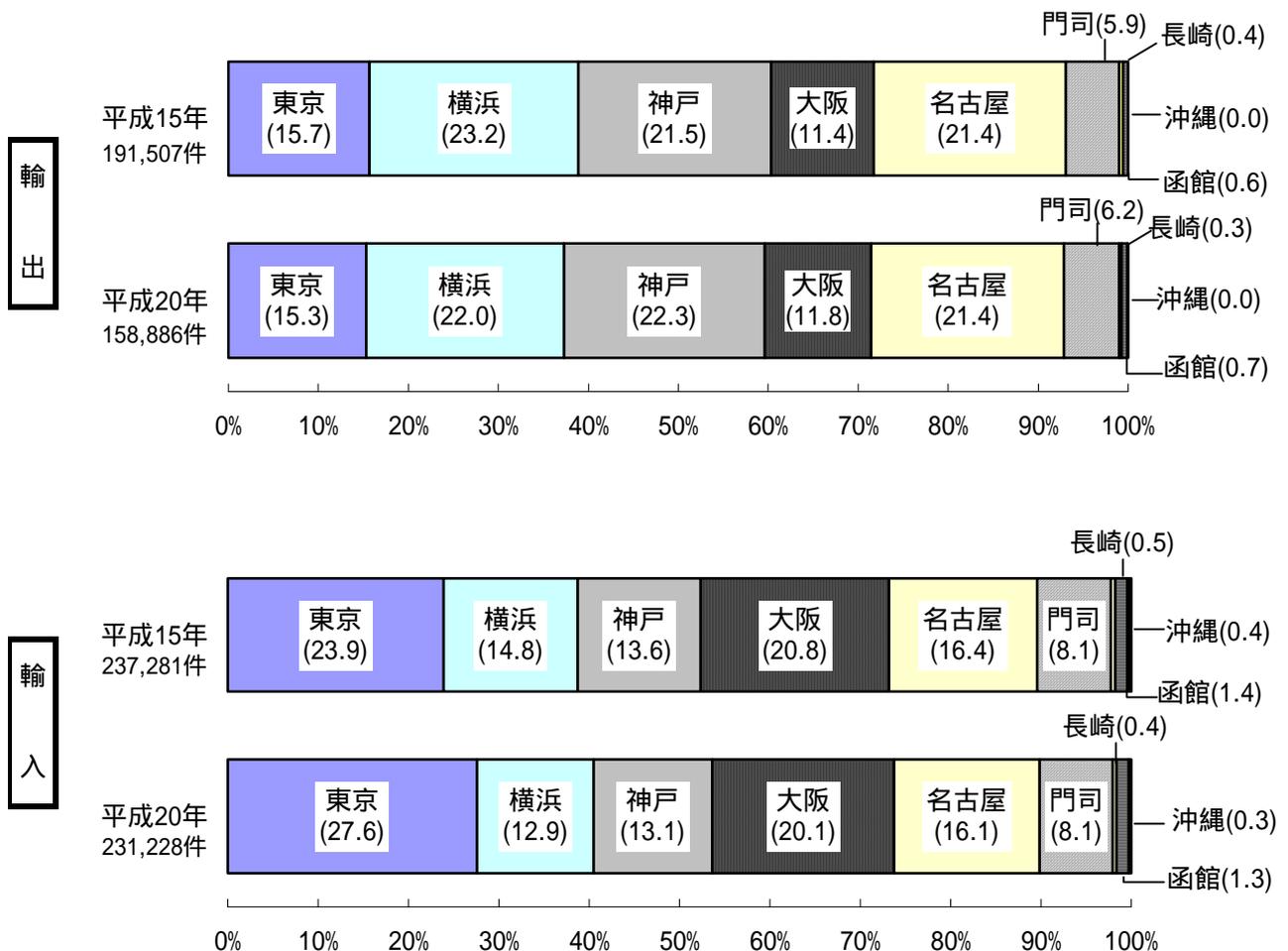
【輸出】

- ・ 申告件数を税関別にみると、神戸税関が22.3%を占める。以下、横浜税関、名古屋税関、東京税関、大阪税関の順。
- ・ 上記5税関の占めるシェア（件数ベース）は92.9%であり、前回調査よりシェアは微減（10年調査：94.4%、15年調査93.2%）。

【輸入】

- ・ 輸入の申告件数を税関別にみると、東京税関が27.6%を占める。以下、大阪税関、名古屋税関、神戸税関、横浜税関の順。
- ・ 上記5税関の占めるシェア（件数ベース）は89.8%であり、前回調査と比較するとシェアは微増（10年調査：89.8%、15年調査89.5%）。

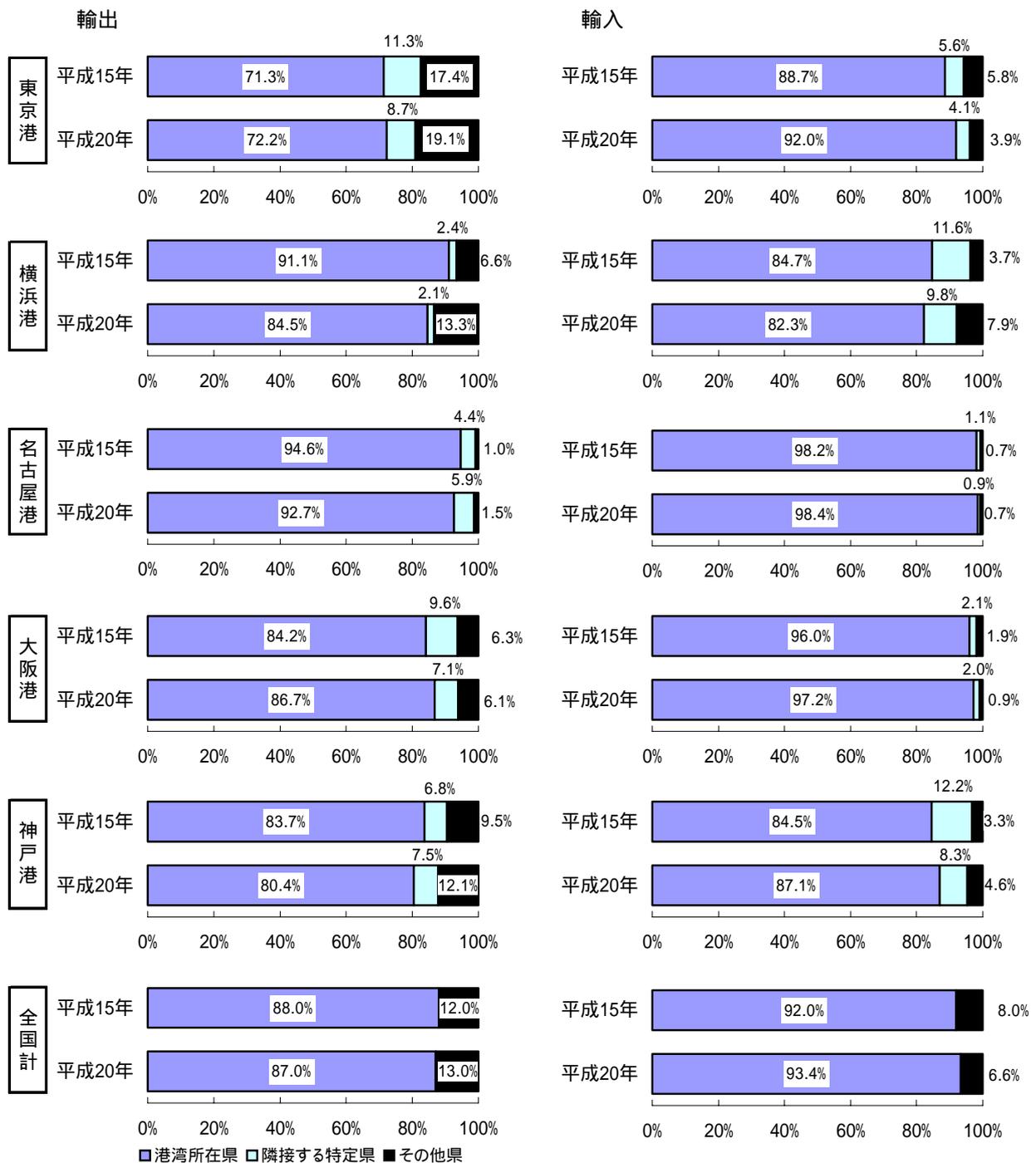
図 1 3 税関別申告件数割合



9. 輸出入申告時の蔵置場所

- ・輸出入申告時の状況（申告時に利用した蔵置場所の立地）をみると、輸出は船積港所在県で申告している比率が87.0%、輸入は船卸港所在県で申告している比率が93.4%。
- ・5大港積み貨物のうち、船積港所在県で輸出申告している比率が比較的低いのは、東京港(72.2%)
- ・5大港卸し貨物は、各港とも船卸港所在県で輸入申告している比率が80%以上。
- ・前回調査と比較すると、輸入では横浜港を除き船卸港所在県で申告している比率が拡大。

図14 港湾別にみたコンテナ貨物の蔵置場所の立地場所



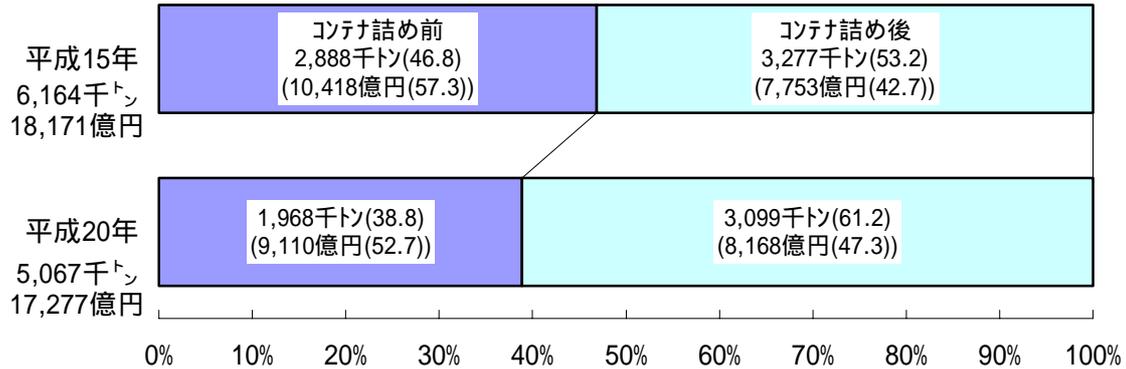
注) 隣接する特定県：東京港(神奈川県)、横浜港(東京都)、神戸港(大阪府)、大阪港(兵庫県)、名古屋港(三重県)
 全国計には隣接する特定県の区分はナシ

10 . 申告時の貨物の状態

10 - 1 . 輸 出

- ・ 申告時の輸出コンテナ貨物の状態は、「コンテナ詰め後」が貨物量では61.2%（前回調査53.2%）、申告価格では47.3%（同42.7%）。
- ・ 調査年ごとに貨物量、申告価格とも「コンテナ詰め後通関」の比率が拡大。

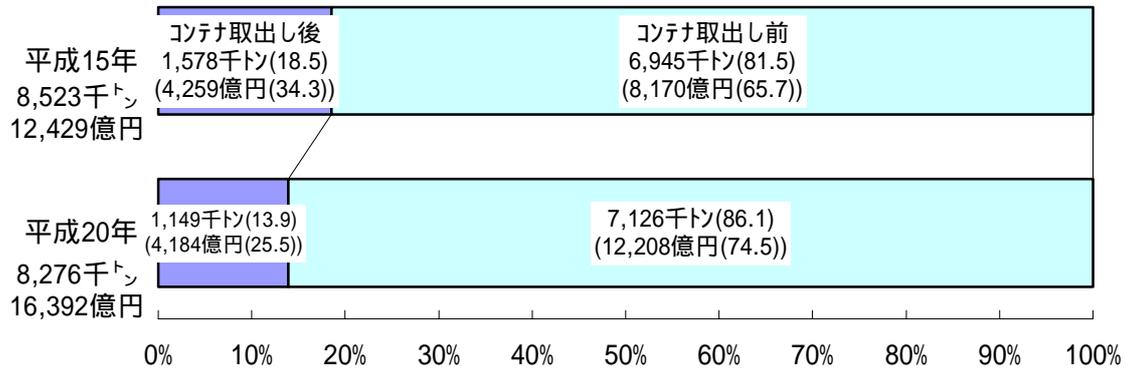
図 1 5 申告時の貨物の状態（輸出・貨物量）



10 - 2 . 輸 入

- ・ 申告時における輸入コンテナ貨物の状態は、「コンテナ取出し前」が貨物量では86.1%（前回調査81.5%）、申告価格では74.5%（同65.7%）。
- ・ 調査年ごとに貨物量、申告価格とも「コンテナ取出し前通関」の比率が拡大。

図 1 6 申告時の貨物の状態（輸入・貨物量）

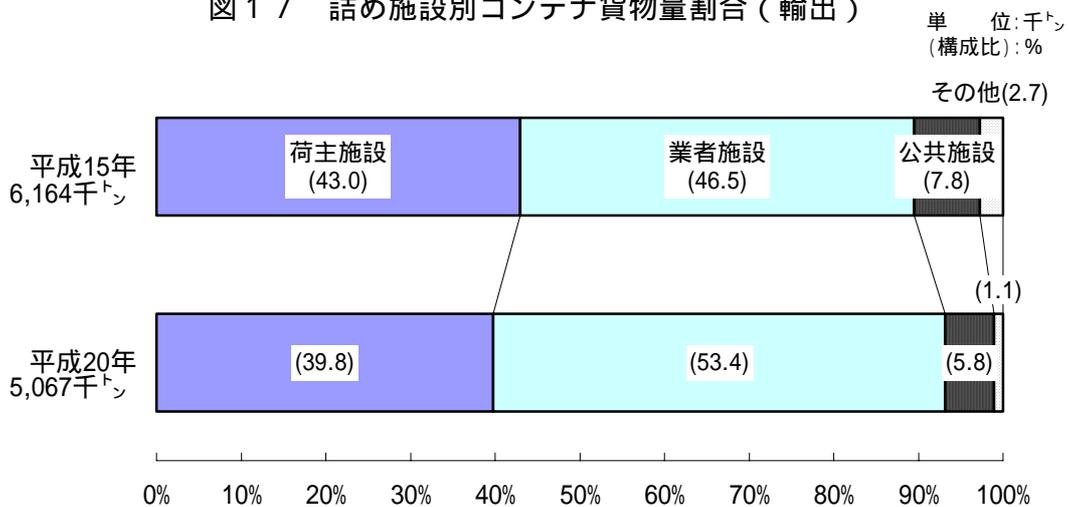


1 1 . コンテナ貨物の詰め施設・取出施設

1 1 - 1 . コンテナに詰める施設（輸出）

- ・コンテナ詰め(バンニング)施設の比率は、業者施設(53.4%)、荷主施設(39.8%)、公共施設(5.8%)、第3セクター施設、インランドデポなどのその他施設(1.1%)の順。
- ・前回調査と比較すると、業者施設の割合が6.9ポイント拡大。
- ・主要船積港別にみると、荷主施設の利用割合が高いのは、博多港(60.8%)、業者施設は清水港(69.9%)、横浜港(61.5%)、公共施設は下関港(72.9%)など。
- ・コンテナ詰め施設について種別をみると、上屋(34.9%)、工場(27.4%)、その他倉庫(温度調節機能のない倉庫)(23.8%)の順に利用が多い。

図 1 7 詰め施設別コンテナ貨物量割合（輸出）



【詰め・取出施設の区分】

区分	該当施設例
荷主施設	工場、荷主の自家倉庫、物流センター
業者施設	物流業者所有の上屋、倉庫
公共施設	公共上屋、公共野積場、岸壁・エプロン
その他施設	船社CFS、第3セクター施設、インランドデポ

図 1 8 コンテナ貨物詰め施設の種別（輸出）

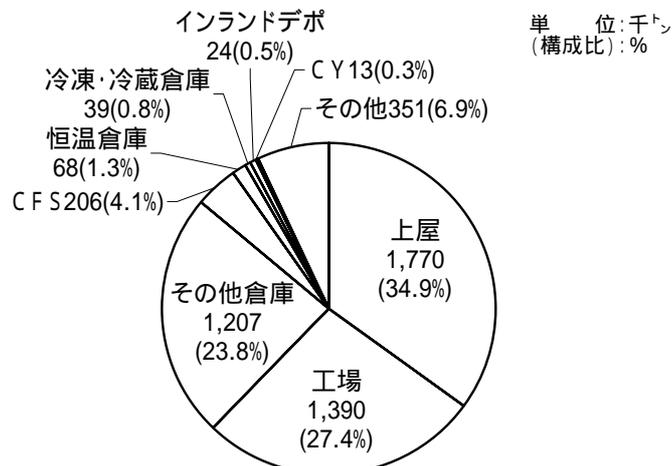
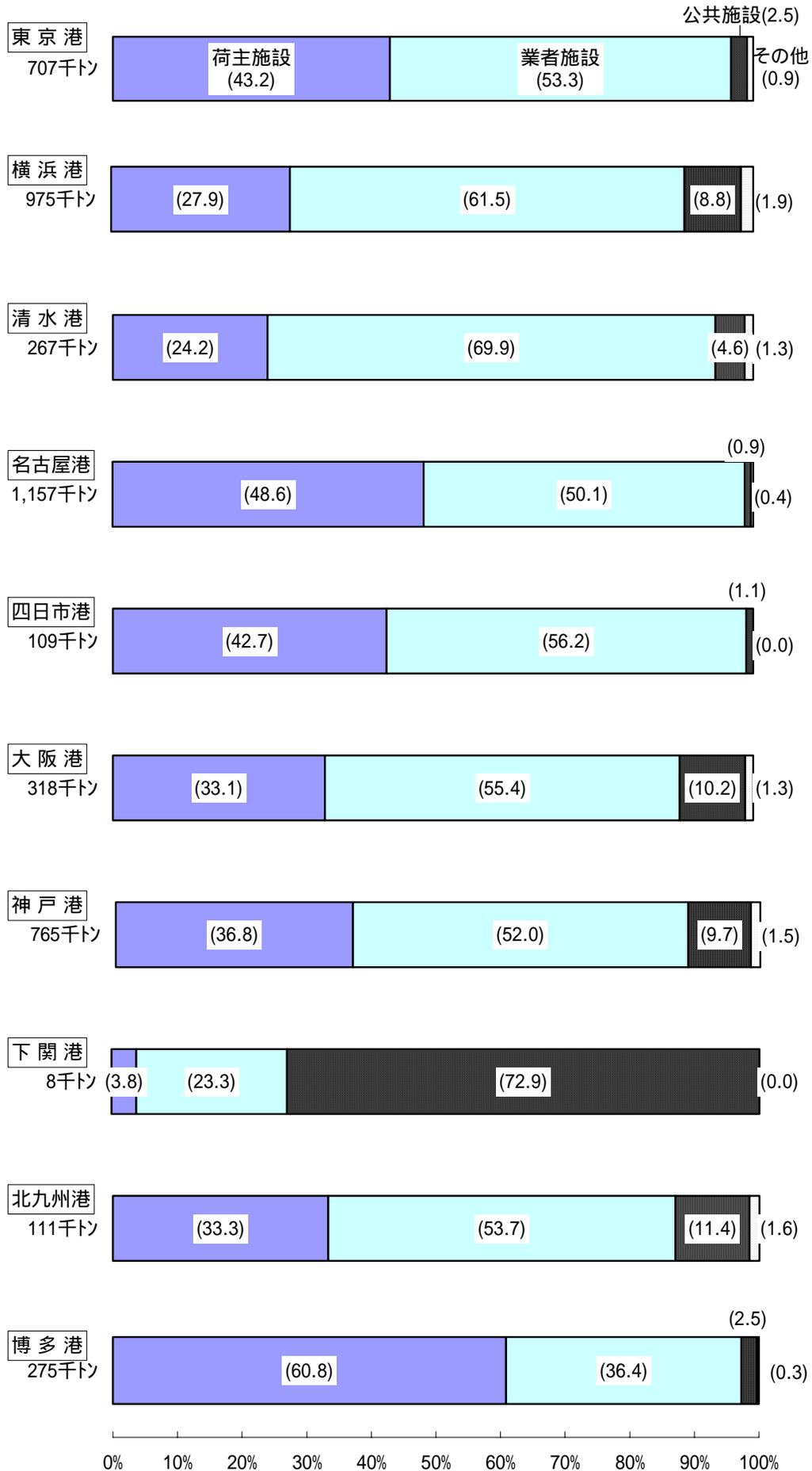


図 1 9 港湾別にみた詰め施設別コンテナ貨物量割合（輸出）



1 1 - 2 . コンテナから取り出す施設（輸入）

- ・コンテナ取出(デバンニング)施設の比率は、業者施設(59.1%)、荷主施設(34.3%)、その他施設(4.5%)、公共施設(2.1%)の順。
- ・前回調査と比較すると、輸出と同様に業者施設の比率が拡大。
- ・主要船卸港別にみると、荷主施設の利用割合が高いのは四日市港(64.3%)、業者施設は横浜港(63.8%)、東京港(63.7%)、大阪港(61.2%)、公共施設は下関港(55.9%)など。
- ・コンテナ取出施設について種別をみると、その他倉庫(温度調節機能のない倉庫)(46.0%)、工場(16.2%)、上屋(15.5%)の順に利用が多い。

図 2 0 取出施設別コンテナ貨物量割合（輸入）

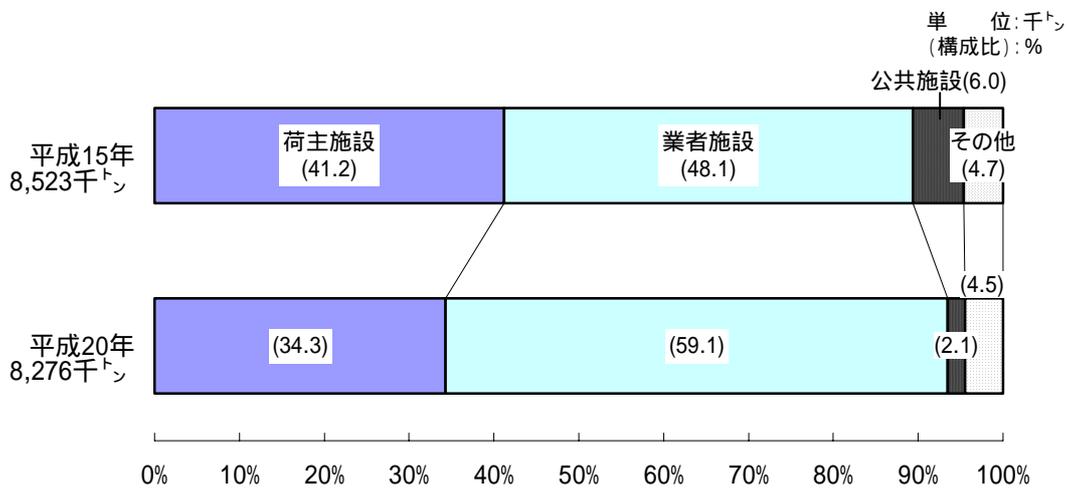


図 2 1 コンテナ貨物を取り出す施設の種別（輸入）

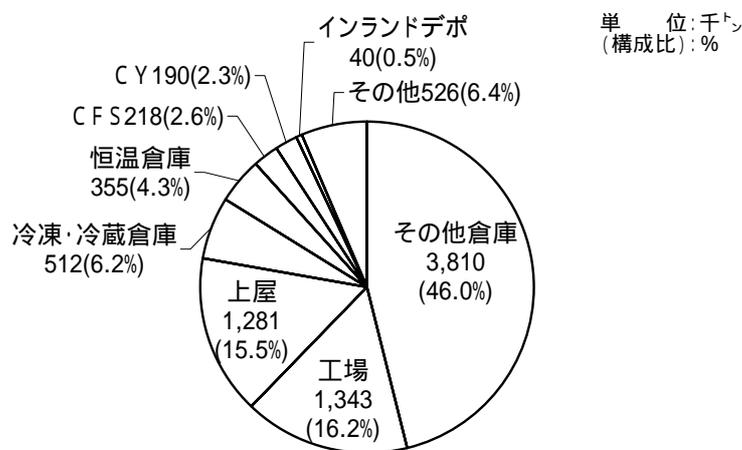
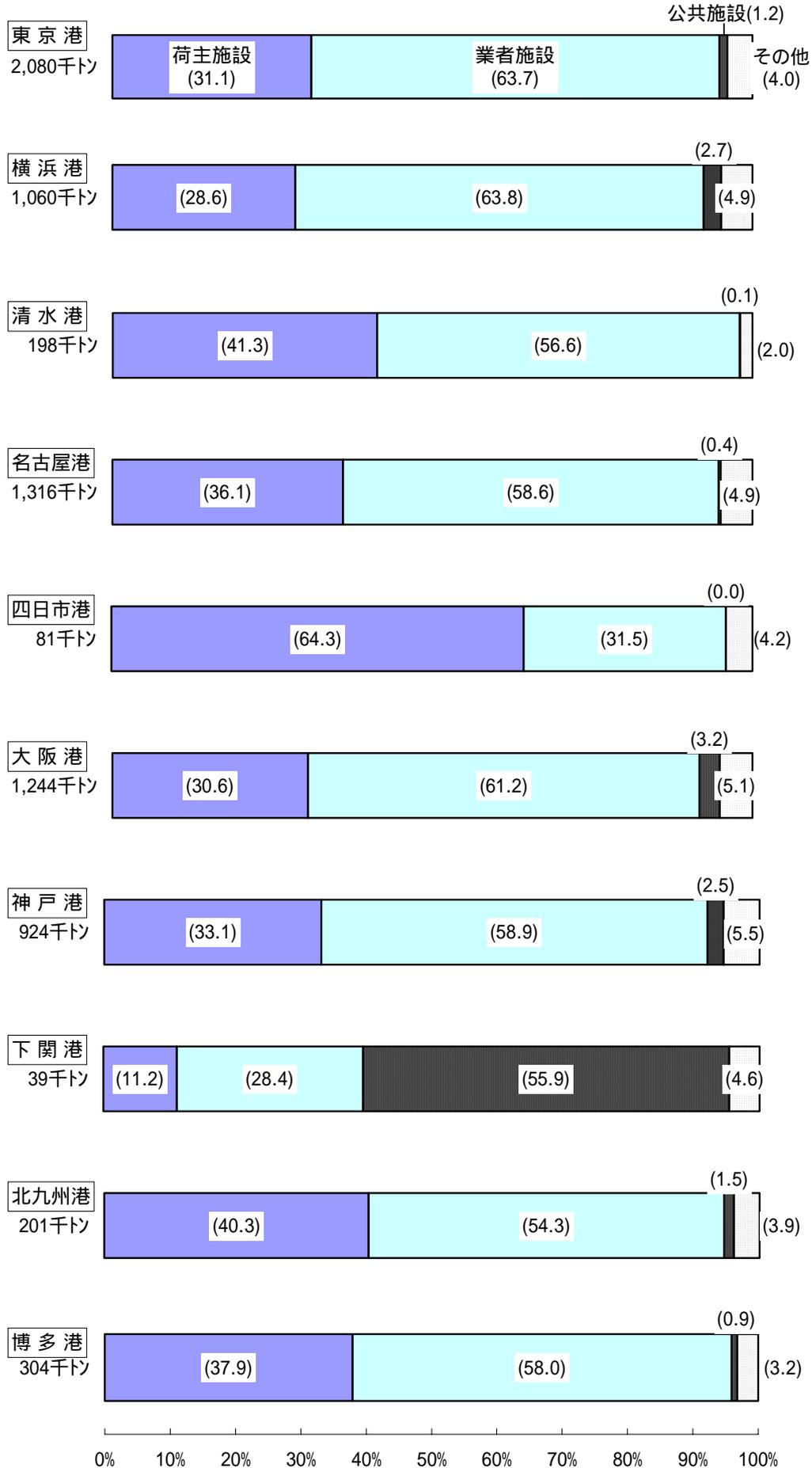


図 2 2 港湾別にみた取出施設別コンテナ貨物量割合（輸入）



1 2 . 港頭地区における詰め、取出の状況

【輸出】

- ・詰め場所(バンニング場所)が、船積港の港頭地区である比率は39.7%。
- ・前回調査と比較すると、港頭地区の比率は1.8ポイント拡大。
- ・港頭地区の比率が拡大した主な船積港は、名古屋港、大阪港、神戸港、北九州港、博多港、清水港。比率が低下した主な港湾は、東京港、横浜港、四日市港、下関港。

【輸入】

- ・取出場所(デバンニング場所)が船卸港の港頭地区である比率は29.9%。輸出よりも比率は低い。
- ・前回調査と比較すると、港頭地区の比率は6.9ポイント拡大。
- ・主な船卸港では、5大港のほか清水港、四日市港、北九州港、博多港で港頭地区の比率が拡大。港頭地区比率が他港に比べ高い下関港では、港頭地区の比率が低下。

図 2 3 港頭地区詰め・取出比率の推移

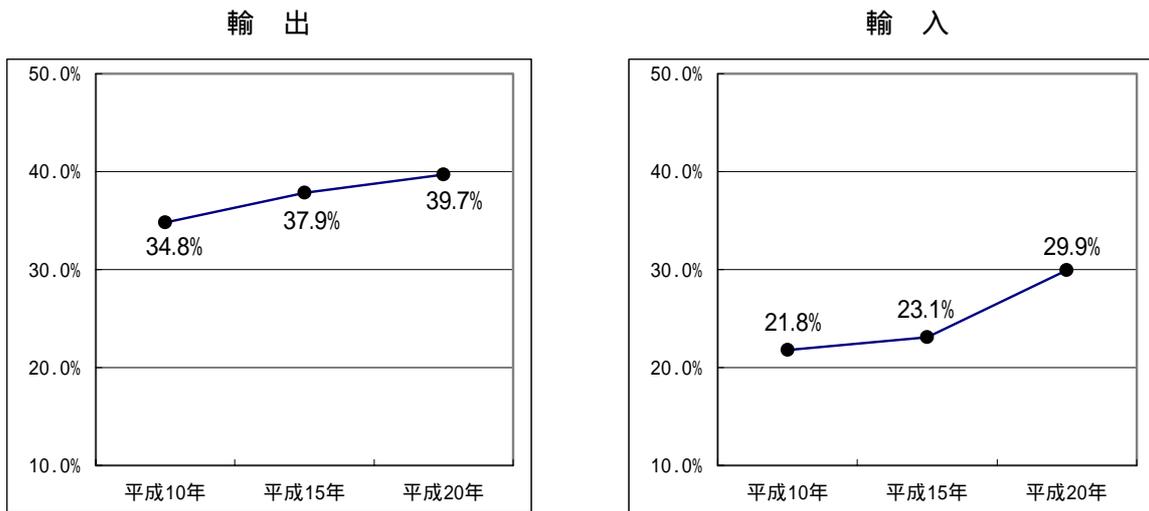


図 2 4 港頭地区詰め・取出比率が高まった主な港湾

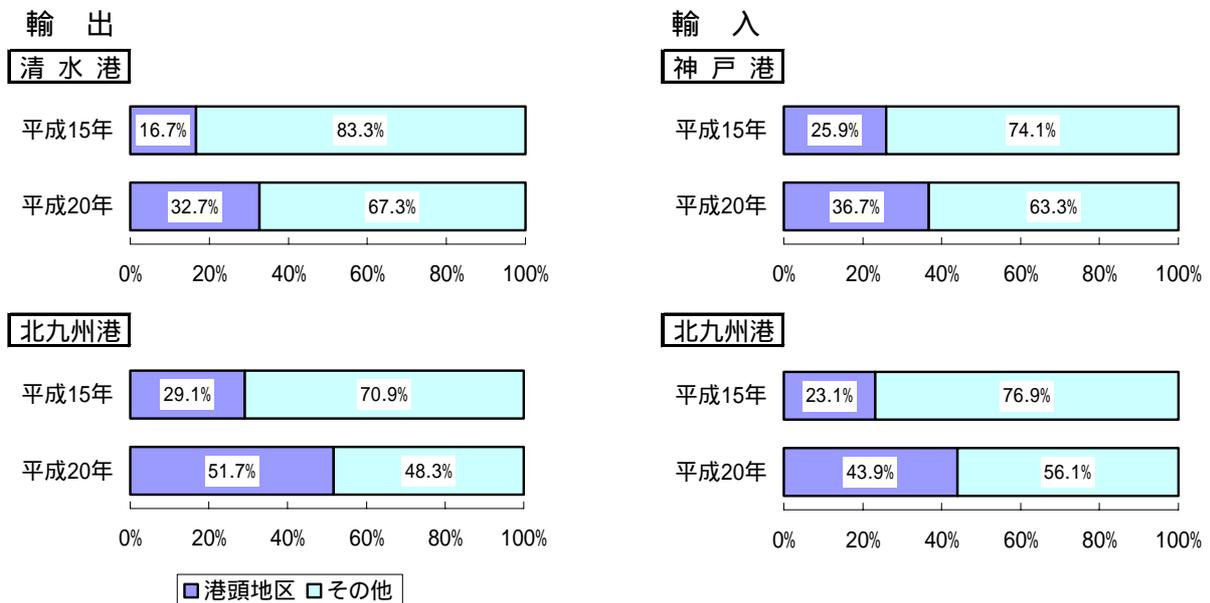


表5 港頭地区詰め・取出比率の推移

輸 出					輸 入				
船積湾	年次	自港港頭 地区詰め		其他地区 詰め	船卸港	年次	自港港頭 地区詰め		其他地区 取出
			前回比					前回比	
東京港	平成15年	27.1%	↘	72.9%	東京港	平成15年	23.0%	↗	77.0%
	平成20年	20.9%		79.1%		平成20年	30.7%		69.3%
横浜港	平成15年	39.8%	↘	60.2%	横浜港	平成15年	22.6%	↗	77.4%
	平成20年	37.6%		62.4%		平成20年	30.1%		69.9%
清水港	平成15年	16.7%	↗	83.3%	清水港	平成15年	7.0%	↗	93.0%
	平成20年	32.7%		67.3%		平成20年	9.2%		90.8%
名古屋港	平成15年	51.9%	↗	48.1%	名古屋港	平成15年	25.6%	↗	74.4%
	平成20年	53.3%		46.7%		平成20年	27.7%		72.3%
四日市港	平成15年	62.5%	↘	37.5%	四日市港	平成15年	11.1%	↗	88.9%
	平成20年	56.7%		43.3%		平成20年	14.8%		85.2%
大阪港	平成15年	36.2%	↗	63.8%	大阪港	平成15年	23.8%	↗	76.2%
	平成20年	38.2%		61.8%		平成20年	31.4%		68.6%
神戸港	平成15年	42.5%	↗	57.5%	神戸港	平成15年	25.9%	↗	74.1%
	平成20年	46.1%		53.9%		平成20年	36.7%		63.3%
下関港	平成15年	83.4%	↘	16.6%	下関港	平成15年	79.4%	↘	20.6%
	平成20年	81.0%		19.0%		平成20年	74.0%		26.0%
北九州港	平成15年	29.1%	↗	70.9%	北九州港	平成15年	23.1%	↗	76.9%
	平成20年	51.7%		48.3%		平成20年	43.9%		56.1%
博多港	平成15年	17.7%	↗	82.3%	博多港	平成15年	13.9%	↗	86.1%
	平成20年	19.1%		80.9%		平成20年	17.0%		86.1%
主要10港 (計)	平成15年	38.6%	↗	61.4%	主要10港 (計)	平成15年	23.3%	↗	76.7%
	平成20年	39.9%		60.1%		平成20年	30.2%		69.8%
その他港 (計)	平成15年	31.5%	↗	68.5%	その他港 (計)	平成15年	21.3%	↗	78.7%
	平成20年	37.0%		63.0%		平成20年	27.4%		72.6%

13. コンテナ貨物の船積、船卸状況

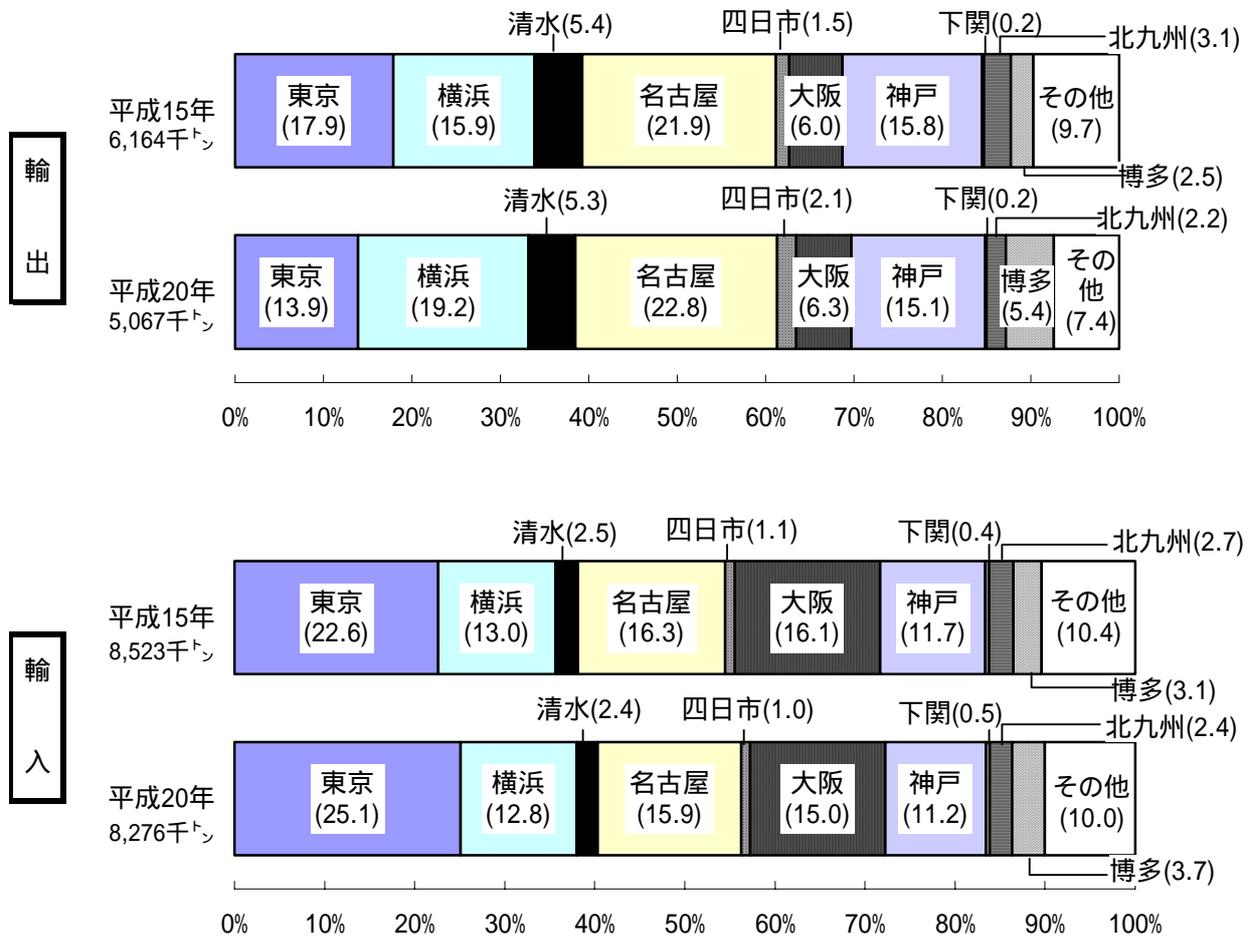
【輸出】

- ・貨物量に占める5大港の割合は77.4%（10年調査80.7%、15年調査77.5%）。
- ・名古屋港は貨物量が116万トンで、シェアが20%超え。
- ・横浜港はシェアが3.4ポイント拡大。東京港はシェアが4.0ポイント低下。

【輸入】

- ・貨物量に占める5大港の割合は80.0%（10年調査83.0%、15年調査79.8%）。
 - ・東京港は貨物量が208万トンで、シェアは2.5ポイント拡大。
 - ・他の5大港はいずれもシェアが低下。
- ・輸出入ともに、5大港におけるシェアの低下傾向に歯止めが掛かっている。
- ・主な港湾の輸出入バランスをみると、下関港（輸入貨物量 / 輸出貨物量：4.86）、大阪港（同3.91）、東京港（同2.94）、北九州港（同1.81）、神戸港（同1.21）、名古屋港（同1.14）、博多港（同1.10）、横浜港（同1.09）では入超。

図25 港湾別コンテナ貨物割合



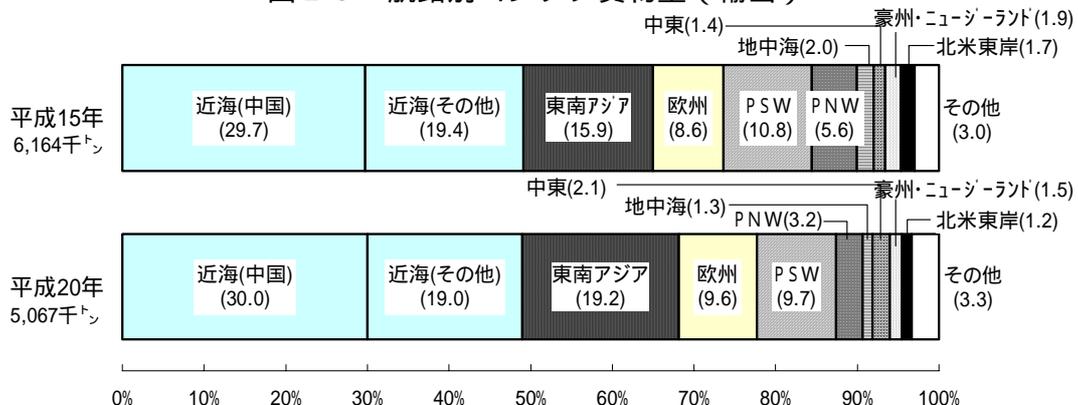
1.4 航路別にみたコンテナ貨物

・航路区分は、輸出では貨物の最初の仕向港、輸入では貨物の最後の仕出港が所在する地域により区分した。

1.4-1 輸出

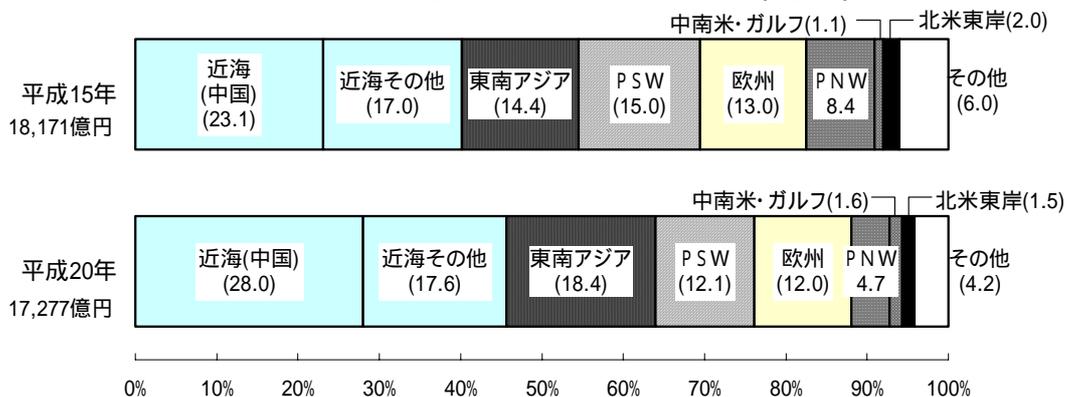
- ・航路別に貨物量割合をみると、近海航路が49.0%で最も多い。シェアは前回(49.1%)とほぼ同じ。
- ・近海航路の内訳は、中国航路(30.0%)(注：香港航路を含む。)、韓国航路(12.1%)、台湾航路(6.9%)の順で、韓国航路のシェアが3.0ポイント(トランシップ貨物3.0ポイント、ダイレクト貨物0.0ポイント)拡大したのに対し、台湾航路は3.3ポイント低下。
- ・東南アジア/南アジア/太平洋航路(19.2%)もシェアが3.3ポイント拡大。内訳は、トランシップ貨物が4.2ポイント拡大、ダイレクト貨物は0.9ポイント低下。
- ・このほか欧州航路で、シェアが1.0ポイント拡大。
- ・一方、北米航路は3航路(P SW航路、PNW航路、北米東岸航路)のシェアが14.1%(前回18.1%)で、3航路ともシェアが低下。
- ・港湾別シェアでは、香港(12.6%)、釜山港(11.6%)、上海港(9.5%)、シンガポール港(6.8%)の順で、釜山港(8.2% 11.6%)、シンガポール港(4.4% 6.8%)のシェアは2ポイント以上拡大。

図2.6 航路別コンテナ貨物量(輸出)



注：「東南アジア」には南アジア、太平洋航路を含む。
 「その他」には中東、豪州・ニュージーランド、地中海、アフリカ、南米航路が含まれる。
 航路区分は貨物の仕向港が所在する地域により区分した。

図2.7 航路別コンテナ貨物申告価格(輸出)

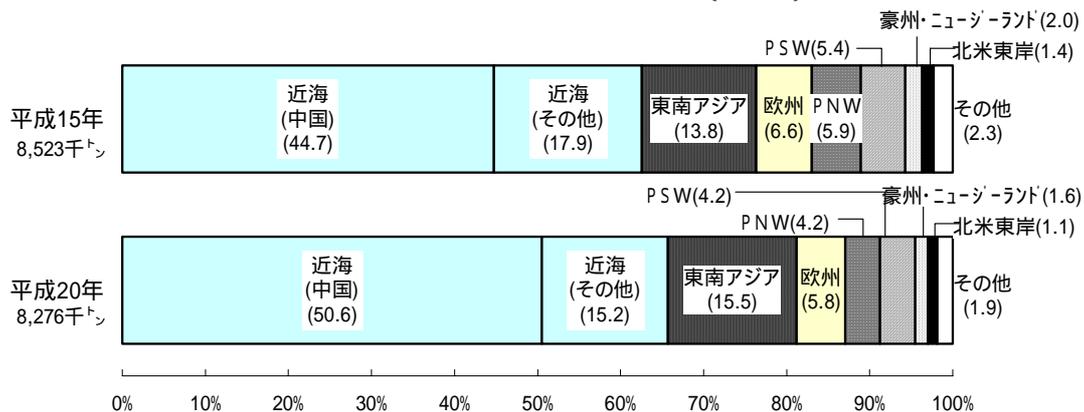


注：「東南アジア」には南アジア、太平洋航路を含む。
 「その他」には中東、豪州・ニュージーランド、地中海、アフリカ、南米航路が含まれる。
 航路区分は貨物の仕向港が所在する地域により区分した。

14-2. 輸 入

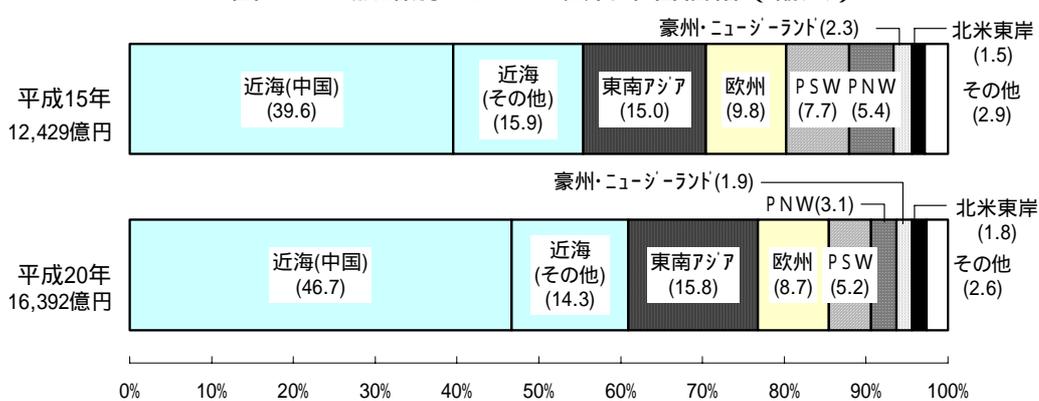
- ・航路別に貨物量割合をみると、近海航路(65.7%)、東南アジア/南アジア/太平洋航路(15.5%)の2航路で80%以上を占める。
- ・近海航路の内訳は、中国航路(50.6%)、韓国航路(11.1%)、台湾航路(4.0%)の順。
- ・シェアを前回調査と比較すると、近海航路は3.1ポイント、東南アジア/南アジア/太平洋航路は1.7ポイント拡大しており、近海航路では中国航路の貢献(5.8ポイント拡大)が大きい。
- ・東南アジア/南アジア/太平洋航路のシェア拡大の内訳は、トランシップ貨物が0.8ポイント、ダイレクト貨物が0.9ポイント。
- ・一方、北米航路、地中海航路、豪州・ニュージーランド航路は、シェアが低下。特に北米航路は、3航路(P S W航路、P N W航路、北米東岸航路)のシェアが9.5%(前回12.7%)で3.2ポイント低下している。
- ・港湾別シェアは、上海港(18.8%)、釜山港(10.4%)、香港(9.6%)、青島港(4.8%)、シンガポール港(4.2%)、大連港(3.8%)の順で、東アジア港湾が上位を占める。特に上海港(15.5% 18.8%)はシェアが3.2ポイント拡大。

図28 航路別コンテナ貨物量(輸入)



注: 「東南アジア」には南アジア、太平洋航路を含む。
「その他」にはガルフ・中南米、アフリカ、南米航路が含まれる。
航路区分は貨物の仕出港が所在する地域により区分した。

図29 航路別コンテナ貨物申告価格(輸入)



注: 「東南アジア」には南アジア、太平洋航路を含む。
「その他」にはガルフ・中南米、アフリカ、南米航路が含まれる。
航路区分は貨物の仕出港が所在する地域により区分した。

15. 非直送率（日本発着のコンテナ貨物のうちアジア主要12港で積替輸送される比率）
- ・アジアの主要12港における積替貨物量は2,403千トン（輸出：1,168千トン、輸入1,235千トン）。前回調査に比べ、輸入は7.3%減少したが、輸出は21.3%増加。
 - ・非直送率は18.0%（輸出23.0%、輸入14.9%）。前回調査と比較すると、輸入は0.7ポイント低下したが、輸出は7.4ポイント拡大。
 - ・積替港湾別では、釜山港、シンガポール港、香港、高雄港、上海港、タンジュンペラパス港の順に積替貨物量が多い。
 - ・船積・船卸港別に非直送率をみると、スーパー中枢港湾は12.3%（輸出16.8%、輸入9.6%）、その他港湾は41.5%（輸出47.5%、輸入37.5%）。前回調査に比べ、スーパー中枢港湾は2.0ポイント、その他港湾は4.4ポイント非直送率が上昇。

図30 日本発着のコンテナ貨物のうちアジア主要12港で積替輸送される比率の推移

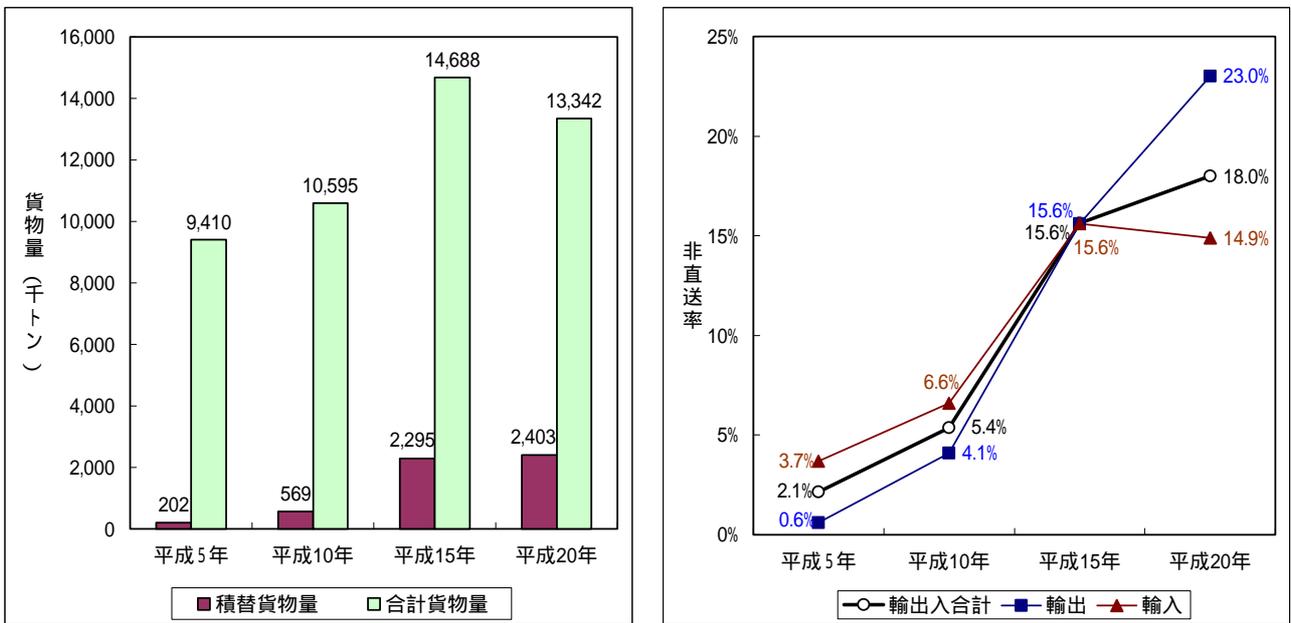


図31 積替貨物のイメージ（北米向け貨物の場合）

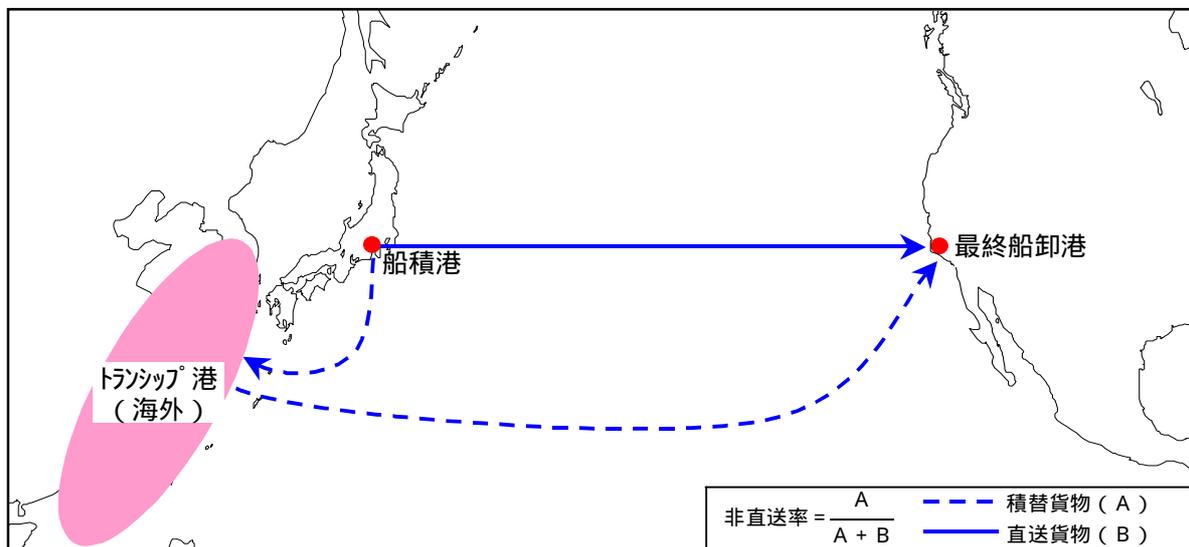


表6 アジア主要12港別積替貨物量、非直送率

【積替貨物量】

(単位：千トン)

			アジア12港における積替貨物量													
			合計貨物量	計	釜山港	光陽港	香港	上海港	深セン諸港	廈門港	寧波港	基隆港	高雄港	台中港	シンガポール港	タンジュンペラス港
合計	合計	平成10年	10,595	569	229	0	90	4	1	0	0	28	62	5	150	
		平成15年	14,688	2,295	830	6	514	31	3	1	1	18	441	10	417	22
		平成20年	13,342	2,403	949	0	383	106	46	1	11	27	165	39	570	104
	輸出	平成10年	5,221	213	77		65	0	0	0	0	18	7	1	45	
		平成15年	6,164	963	287	0	280	13	0	0	0	7	204	6	162	3
		平成20年	5,067	1,168	388		240	27	39		3	12	84	29	270	75
	輸入	平成10年	5,374	356	152	0	25	4	1	0		10	55	4	105	
		平成15年	8,523	1,332	544	6	235	18	3	1	1	10	237	4	255	19
		平成20年	8,276	1,235	562	0	143	79	8	1	8	15	80	10	299	29
(例) 機械類 及び 輸送用 機器	合計	平成10年	3,067	127	45		16	1	0			4	6	0	56	
		平成15年	4,250	548	127	0	175	9	0	0	0	4	106	2	122	2
		平成20年	3,903	565	139		113	18	25	0	2	5	41	13	162	47
	輸出	平成10年	2,426	83	31		14	0	0			3	3	0	31	
		平成15年	3,006	422	88	0	148	7		0		3	84	1	88	2
		平成20年	2,413	462	108		94	15	25		2	4	34	13	119	47
	輸入	平成10年	641	44	14		2	0	0			0	3	0	24	
		平成15年	1,245	126	39	0	27	2	0	0	0	1	22	0	34	0
		平成20年	1,490	104	31		18	3	0	0	0	1	6	0	43	0

【非直送率】

			アジア12港における積替貨物量													
			合計	計	釜山港	光陽港	香港	上海港	深セン諸港	廈門港	寧波港	基隆港	高雄港	台中港	シンガポール港	タンジュンペラス港
合計	合計	平成10年	100.0%	5.4%	2.2%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%	0.0%	1.4%	
		平成15年	100.0%	15.6%	5.7%	0.0%	3.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	3.0%	0.1%	2.8%	0.1%
		平成20年	100.0%	18.0%	7.1%	0.0%	2.9%	0.8%	0.3%	0.0%	0.1%	0.2%	1.2%	0.3%	4.3%	0.8%
	輸出	平成10年	100.0%	4.1%	1.5%		1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.9%	
		平成15年	100.0%	15.6%	4.6%	0.0%	4.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	3.3%	0.1%	2.6%	0.0%
		平成20年	100.0%	23.0%	7.6%		4.7%	0.5%	0.8%		0.1%	0.2%	1.7%	0.6%	5.3%	1.5%
	輸入	平成10年	100.0%	6.6%	2.8%	0.0%	0.5%	0.1%	0.0%			0.2%	1.0%	0.1%	2.0%	
		平成15年	100.0%	15.6%	6.4%	0.1%	2.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	2.8%	0.1%	3.0%	0.2%
		平成20年	100.0%	14.9%	6.8%	0.0%	1.7%	1.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	1.0%	0.1%	3.6%	0.4%
(例) 機械類 及び 輸送用 機器	合計	平成10年	100.0%	4.1%	1.5%		0.5%	0.0%	0.0%			0.1%	0.2%	0.0%	1.8%	
		平成15年	100.0%	12.9%	3.0%	0.0%	4.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	2.5%	0.0%	2.9%	0.1%
		平成20年	100.0%	14.5%	3.6%		2.9%	0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.1%	1.0%	0.3%	4.2%	1.2%
	輸出	平成10年	100.0%	3.4%	1.3%		0.6%	0.0%	0.0%			0.1%	0.1%	0.0%	1.3%	
		平成15年	100.0%	14.0%	2.9%	0.0%	4.9%	0.2%		0.0%		0.1%	2.8%	0.0%	2.9%	0.1%
		平成20年	100.0%	19.1%	4.5%		3.9%	0.6%	1.0%		0.1%	0.2%	1.4%	0.5%	4.9%	1.9%
	輸入	平成10年	100.0%	6.8%	2.1%		0.3%	0.0%	0.0%			0.1%	0.5%	0.0%	3.8%	
		平成15年	100.0%	10.1%	3.1%	0.0%	2.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	1.8%	0.0%	2.7%	0.0%
		平成20年	100.0%	7.0%	2.1%		1.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.4%	0.0%	2.9%	0.0%

注：非直送率 = 積替貨物量 / 全コンテナ貨物量

深セン諸港（塩田港、赤湾港、蛇口港、深セン港）

なお、香港積替貨物量に対中国分は含まない。また、上海港・深セン諸港・廈門港・寧波港積替貨物量には対香港分は含まない。

表7 仕向地・仕出地別アジア主要12港別積替貨物量

(単位：千トン)

		合計 貨物量	アジア12港における積替貨物量													
			計	釜山港	光陽港	香港	上海港	深セン 諸港	廈門港	寧波港	基隆港	高雄港	台中港	シンガ ポール 港	ダン ジュン ペラス 港	
東アジア	合計	平成10年	3,728	109	81		4	0	0	0		12	8	1	2	
		平成15年	6,829	354	303	3	14	2	0	0	0	3	27	1	1	0
		平成20年	6,421	270	243		9	1	0	0	0	3	12	0	1	0
	輸出	平成10年	1,485	34	20		2	0	0	0		9	2	0	1	
		平成15年	2,325	114	89	0	8	0		0		2	14	1		
		平成20年	1,729	89	81		5	0				1	1	0		
	輸入	平成10年	2,243	75	62		2	0	0	0		3	6	1	1	
		平成15年	4,504	240	213	3	6	1	0	0	0	1	12	1	1	0
		平成20年	4,691	181	162		3	1	0	0	0	1	11	0	1	0
その他アジア州	合計	平成10年	2,010	257	59	0	68	2	0	0		9	26	4	89	
		平成15年	2,924	1,137	225	1	340	5	1	0	0	9	289	9	252	5
		平成20年	2,809	1,134	280		233	18	16	0	2	22	105	39	387	32
	輸出	平成10年	989	96	21		53	0	0			5	1	1	15	
		平成15年	1,422	532	105		176	3		0		4	142	5	96	2
		平成20年	1,370	635	162		148	11	13		1	10	55	29	189	17
	輸入	平成10年	1,021	161	37	0	15	2	0	0		3	25	3	75	
		平成15年	1,501	604	120	1	164	3	1	0	0	6	147	3	155	4
		平成20年	1,438	498	117		85	7	3	0	0	13	50	10	198	14
北米州	合計	平成10年	2,581	44	29		4	1	0	0		2	7	0	2	
		平成15年	2,500	236	112	2	69	14	1	0	0	0	31	0	6	1
		平成20年	1,823	254	206		17	10	3	0	2	1	8	0	6	2
	輸出	平成10年	1,422	11	9		2	0				0	0		0	
		平成15年	1,242	83	32		43	6		0	0	0	2	0	0	
		平成20年	831	86	70		8	0	1			1	2		2	1
	輸入	平成10年	1,159	33	20		2	1	0	0		2	7	0	2	
		平成15年	1,258	153	81	2	26	8	1	0	0	0	29	0	6	1
		平成20年	992	169	135		9	10	2	0	2	0	6	0	4	1
欧州	合計	平成10年	1,536	111	46		10	1		0		4	14		37	
		平成15年	1,624	329	105	1	44	8	0	0	0	1	75	0	91	5
		平成20年	1,430	354	113		81	36	2	0	6	0	30	0	72	14
	輸出	平成10年	962	53	17		6	0				3	1		26	
		平成15年	782	133	29		21	4	0			0	38	0	41	
		平成20年	713	176	45		61	4	1		1		19		32	13
	輸入	平成10年	574	57	28		4	0		0		1	12		11	
		平成15年	842	197	76	1	22	4	0	0	0	1	37	0	50	5
		平成20年	717	178	69		20	31	1	0	5	0	11	0	40	1
その他地域	合計	平成10年	739	47	15		3	0	0	0	0	1	8		20	
		平成15年	810	239	86	1	47	3	0	0	1	4	20	0	67	10
		平成20年	860	391	107	0	44	42	25	0	2	1	9		104	56
	輸出	平成10年	363	18	10		2	0			0	1	2		3	
		平成15年	392	101	32		32	1		0		2	9	0	25	1
		平成20年	423	182	29		17	12	24		1	1	7		48	43
	輸入	平成10年	376	29	5		1	0	0	0		1	5		16	
		平成15年	418	138	54	1	15	2	0		1	3	11	0	42	9
		平成20年	437	209	78	0	27	30	2	0	1	0	2		56	13

注) ・東アジアは、韓国、北朝鮮、中国、台湾、香港。
 ・その他アジア州には、東アジアを除き、中近東(トルコを除く)、ウラル山脈以南の中央アジア諸国を含む。
 ・北米州には、パナマ以北の中米諸国、カリブ海、西インド諸島諸国を含む。
 ・欧州にはロシアおよびトルコを含む。
 ・その他地域とは南米、アフリカ、オセアニア(南太平洋諸国を含む)を指す。
 ・深セン諸港(塩田港、赤湾港、蛇口港、深セン港)
 ・なお、香港積替貨物量に対中国分は含まない。また、上海港・深セン諸港・廈門港・寧波港積替貨物量には対香港分は含まない。

表8 仕向地・仕出地アジア主要12港別非直送率

			合計	アジア12港における積替貨物量												
				計	釜山港	光陽港	香港	上海港	深セン諸港	廈門港	寧波港	基隆港	高雄港	台中港	シンガポール港	タンジュンペラス港
東アジア	合計	平成10年	100.0%	2.9%	2.2%		0.1%	0.0%	0.0%	0.0%		0.3%	0.2%	0.0%	0.1%	
		平成15年	100.0%	5.2%	4.4%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
		平成20年	100.0%	4.2%	3.8%		0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	輸出	平成10年	100.0%	2.3%	1.3%		0.1%	0.0%	0.0%	0.0%		0.6%	0.1%	0.0%	0.1%	
		平成15年	100.0%	4.9%	3.8%	0.0%	0.3%	0.0%		0.0%		0.1%	0.6%	0.0%		
		平成20年	100.0%	5.1%	4.7%		0.3%	0.0%				0.1%	0.1%	0.0%		
	輸入	平成10年	100.0%	3.3%	2.7%		0.1%	0.0%	0.0%	0.0%		0.1%	0.3%	0.0%	0.0%	
		平成15年	100.0%	5.3%	4.7%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		平成20年	100.0%	3.9%	3.5%		0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
その他アジア州	合計	平成10年	100.0%	12.8%	2.9%	0.0%	3.4%	0.1%	0.0%	0.0%		0.4%	1.3%	0.2%	4.4%	
		平成15年	100.0%	38.9%	7.7%	0.0%	11.6%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	9.9%	0.3%	8.6%	0.2%
		平成20年	100.0%	40.4%	10.0%		8.3%	0.6%	0.6%	0.0%	0.1%	0.8%	3.8%	1.4%	13.8%	1.1%
	輸出	平成10年	100.0%	9.7%	2.1%		5.3%	0.0%	0.0%			0.5%	0.1%	0.1%	1.5%	
		平成15年	100.0%	37.4%	7.4%		12.4%	0.2%		0.0%		0.3%	10.0%	0.4%	6.8%	0.1%
		平成20年	100.0%	46.4%	11.9%		10.8%	0.8%	0.9%		0.1%	0.7%	4.0%	2.1%	13.8%	1.3%
	輸入	平成10年	100.0%	15.8%	3.7%	0.0%	1.5%	0.2%	0.0%	0.0%		0.3%	2.4%	0.3%	7.3%	
		平成15年	100.0%	40.3%	8.0%	0.0%	10.9%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.4%	9.8%	0.2%	10.4%	0.3%
		平成20年	100.0%	34.7%	8.2%		5.9%	0.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%	3.5%	0.7%	13.8%	1.0%
北米州	合計	平成10年	100.0%	1.7%	1.1%		0.2%	0.0%	0.0%	0.0%		0.1%	0.3%	0.0%	0.1%	
		平成15年	100.0%	9.4%	4.5%	0.1%	2.8%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.3%	0.0%
		平成20年	100.0%	13.9%	11.3%		0.9%	0.6%	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.3%	0.1%
	輸出	平成10年	100.0%	0.8%	0.6%		0.1%	0.0%				0.0%	0.0%		0.0%	
		平成15年	100.0%	6.7%	2.5%		3.4%	0.5%		0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
		平成20年	100.0%	10.3%	8.4%		1.0%	0.0%	0.1%			0.1%	0.3%		0.2%	0.1%
	輸入	平成10年	100.0%	2.9%	1.7%		0.2%	0.1%	0.0%	0.0%		0.2%	0.6%	0.0%	0.2%	
		平成15年	100.0%	12.1%	6.4%	0.1%	2.1%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.5%	0.1%
		平成20年	100.0%	17.0%	13.6%		0.9%	1.0%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.6%	0.0%	0.4%	0.1%
欧州	合計	平成10年	100.0%	7.2%	3.0%		0.7%	0.0%		0.0%		0.2%	0.9%		2.4%	
		平成15年	100.0%	20.3%	6.5%	0.0%	2.7%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.6%	0.0%	5.6%	0.3%
		平成20年	100.0%	24.7%	7.9%		5.6%	2.5%	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	2.1%	0.0%	5.0%	1.0%
	輸出	平成10年	100.0%	5.6%	1.8%		0.6%	0.0%				0.3%	0.1%		2.7%	
		平成15年	100.0%	17.0%	3.7%		2.7%	0.5%	0.0%			0.0%	4.8%	0.0%	5.2%	
		平成20年	100.0%	24.7%	6.3%		8.5%	0.6%	0.1%		0.2%		2.6%		4.5%	1.9%
	輸入	平成10年	100.0%	10.0%	5.0%		0.7%	0.1%		0.0%		0.2%	2.2%		1.9%	
		平成15年	100.0%	23.4%	9.0%	0.1%	2.7%	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	4.4%	0.0%	6.0%	0.6%
		平成20年	100.0%	24.8%	9.6%		2.8%	4.3%	0.1%	0.0%	0.6%	0.0%	1.6%	0.0%	5.6%	0.1%
その他地域	合計	平成10年	100.0%	6.4%	2.0%		0.5%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	1.0%		2.7%	
		平成15年	100.0%	29.5%	10.6%	0.1%	5.8%	0.3%	0.0%	0.0%	0.1%	0.5%	2.5%	0.0%	8.2%	1.3%
		平成20年	100.0%	45.4%	12.5%	0.0%	5.1%	4.9%	2.9%	0.0%	0.2%	0.2%	1.0%		12.1%	6.6%
	輸出	平成10年	100.0%	5.0%	2.8%		0.6%	0.0%			0.0%	0.2%	0.7%		0.9%	
		平成15年	100.0%	25.6%	8.1%		8.1%	0.2%		0.0%		0.4%	2.2%	0.0%	6.3%	0.2%
		平成20年	100.0%	42.9%	6.9%		4.1%	2.8%	5.6%		0.1%	0.2%	1.6%		11.3%	10.3%
	輸入	平成10年	100.0%	7.7%	1.2%		0.4%	0.1%	0.0%	0.0%		0.2%	1.3%		4.4%	
		平成15年	100.0%	33.1%	13.0%	0.1%	3.7%	0.4%	0.0%		0.1%	0.6%	2.7%	0.0%	10.0%	2.3%
		平成20年	100.0%	47.9%	17.9%	0.0%	6.1%	6.8%	0.4%	0.0%	0.3%	0.1%	0.5%		12.9%	3.0%

注)・非直送率=積替貨物量/全コンテナ貨物量

- ・東アジアは、韓国、北朝鮮、中国、台湾、香港。
- ・その他アジア州には、東アジアを除き、中近東(トルコを除く)、ウラル山脈以南の中央アジア諸国を含む。
- ・北米州には、パナマ以北の中米諸国、カリブ海、西インド諸島諸国を含む。
- ・欧州にはロシアおよびトルコを含む。
- ・その他地域とは南米、アフリカ、オセアニア(南太平洋諸国を含む)を指す。
- ・深セン諸港(塩田港、赤湾港、蛇口港、深セン港)
- ・なお、香港積替貨物量に中国分は含まない。また、上海港・深セン諸港・廈門港・寧波港積替貨物量には対香港分は含まない。

表9 アジア主要12港別仕向地・仕出地別直送・積替貨物量(1)

(単位：千ト)

				合計	直送 貨物量	(計)	積替貨物量				
							東アジア	その他 アジア州	北米州	欧州	その他 地域
韓国 (釜山港・光陽港)	合計	平成10年	貨物量	665	436	229	81	59	29	46	15
			シェア	100.0%	65.6%	34.4%	12.2%	8.8%	4.3%	6.9%	2.2%
		平成15年	貨物量	1,462	625	837	306	225	114	105	87
			シェア	100.0%	42.8%	57.2%	20.9%	15.4%	7.8%	7.2%	5.9%
		平成20年	貨物量	1,462	513	950	243	280	206	113	107
			シェア	100.0%	35.1%	64.9%	16.6%	19.1%	14.1%	7.8%	7.3%
	輸出	平成10年	貨物量	222	145	77	20	21	9	17	10
			シェア	100.0%	65.3%	34.7%	8.9%	9.6%	3.9%	7.9%	4.5%
		平成15年	貨物量	515	229	287	89	105	32	29	32
			シェア	100.0%	44.4%	55.6%	17.3%	20.3%	6.1%	5.6%	6.2%
		平成20年	貨物量	589	202	388	81	162	70	45	29
			シェア	100.0%	34.2%	65.8%	13.7%	27.6%	11.9%	7.6%	4.9%
輸入	平成10年	貨物量	443	291	152	62	37	20	28	5	
		シェア	100.0%	65.7%	34.3%	13.9%	8.4%	4.5%	6.4%	1.0%	
	平成15年	貨物量	947	397	550	216	120	82	76	55	
		シェア	100.0%	41.9%	58.1%	22.9%	12.7%	8.7%	8.1%	5.8%	
	平成20年	貨物量	873	311	562	162	117	135	69	78	
		シェア	100.0%	35.6%	64.4%	18.6%	13.4%	15.5%	7.8%	9.0%	
中国 (香港・深セン諸港・廈門港)	合計	平成10年	貨物量	1,139	1,049	91	5	68	4	10	4
			シェア	100.0%	92.0%	8.0%	0.4%	6.0%	0.4%	0.9%	0.3%
		平成15年	貨物量	2,136	1,618	518	15	342	70	44	47
			シェア	100.0%	75.8%	24.2%	0.7%	16.0%	3.3%	2.1%	2.2%
		平成20年	貨物量	1,982	1,552	430	9	249	20	83	69
			シェア	100.0%	78.3%	21.7%	0.4%	12.6%	1.0%	4.2%	3.5%
	輸出	平成10年	貨物量	588	523	65	2	53	2	6	2
			シェア	100.0%	88.9%	11.1%	0.4%	9.0%	0.3%	1.1%	0.3%
		平成15年	貨物量	861	581	280	8	176	43	21	32
			シェア	100.0%	67.5%	32.5%	0.9%	20.5%	5.0%	2.5%	3.7%
		平成20年	貨物量	700	421	279	5	161	9	62	41
			シェア	100.0%	60.2%	39.8%	0.8%	23.1%	1.3%	8.8%	5.8%
輸入	平成10年	貨物量	552	526	26	2	15	3	4	2	
		シェア	100.0%	95.3%	4.7%	0.4%	2.8%	0.5%	0.7%	0.3%	
	平成15年	貨物量	1,275	1,037	238	7	166	27	23	16	
		シェア	100.0%	81.3%	18.7%	0.6%	13.0%	2.1%	1.8%	1.2%	
	平成20年	貨物量	1,282	1,131	152	3	88	11	21	28	
		シェア	100.0%	88.2%	11.8%	0.3%	6.9%	0.8%	1.6%	2.2%	
中国 (上海港・寧波港)	合計	平成10年	貨物量	621	616	4	0	2	1	1	0
			シェア	100.0%	99.3%	0.7%	0.0%	0.4%	0.1%	0.1%	0.1%
		平成15年	貨物量	2,013	1,980	32	2	5	14	8	3
			シェア	100.0%	98.4%	1.6%	0.1%	0.3%	0.7%	0.4%	0.2%
		平成20年	貨物量	2,287	2,169	118	1	19	12	41	44
			シェア	100.0%	94.9%	5.1%	0.1%	0.8%	0.5%	1.8%	1.9%
	輸出	平成10年	貨物量	160	160	1	0	0	0	0	0
			シェア	100.0%	99.7%	0.3%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%
		平成15年	貨物量	550	537	14	0	3	6	4	1
			シェア	100.0%	97.5%	2.5%	0.0%	0.5%	1.1%	0.7%	0.1%
		平成20年	貨物量	539	509	30	0	12	0	6	13
			シェア	100.0%	94.4%	5.6%	0.0%	2.2%	0.0%	1.1%	2.3%
輸入	平成10年	貨物量	460	456	4	0	2	1	0	0	
		シェア	100.0%	99.2%	0.8%	0.1%	0.5%	0.1%	0.1%	0.1%	
	平成15年	貨物量	1,463	1,444	19	1	3	8	4	2	
		シェア	100.0%	98.7%	1.3%	0.1%	0.2%	0.5%	0.3%	0.2%	
	平成20年	貨物量	1,747	1,660	87	1	7	12	36	31	
		シェア	100.0%	95.0%	5.0%	0.1%	0.4%	0.7%	2.0%	1.8%	

注) 直送貨物量：対自国分貨物量(釜山港・光陽港 韓国、香港・上海港・深セン諸港・廈門港・寧波港 香港、中国)

表9 アジア主要12港別仕向地・仕出地別直送・積替貨物量(2)

(単位:千トン)

			合計	直送 貨物量	積替貨物量					
					(計)	東アジア	その他 アジア州	北米州	欧州	その他 地域
台湾 (高雄港・基隆港・台中港)	合計	平成10年	貨物量 764	669	95	21	39	9	17	9
		シェア	100.0%	87.6%	12.4%	2.8%	5.0%	1.2%	2.3%	1.2%
		平成15年	貨物量 1,167	698	470	31	307	31	76	24
		シェア	100.0%	59.8%	40.2%	2.7%	26.3%	2.7%	6.5%	2.1%
		平成20年	貨物量 682	451	232	15	167	9	30	10
		シェア	100.0%	66.1%	33.9%	2.2%	24.4%	1.3%	4.4%	1.5%
	輸出	平成10年	貨物量 427	401	26	11	7	0	4	3
		シェア	100.0%	94.0%	6.0%	2.6%	1.7%	0.1%	0.9%	0.7%
		平成15年	貨物量 631	414	218	17	151	2	38	10
		シェア	100.0%	65.5%	34.5%	2.6%	23.9%	0.3%	6.0%	1.6%
		平成20年	貨物量 348	223	126	2	94	3	19	8
		シェア	100.0%	63.9%	36.1%	0.7%	26.9%	0.9%	5.4%	2.3%
輸入	平成10年	貨物量 337	268	69	10	31	8	14	6	
	シェア	100.0%	79.5%	20.5%	2.9%	9.3%	2.5%	4.0%	1.8%	
	平成15年	貨物量 536	284	252	14	156	29	38	14	
	シェア	100.0%	53.0%	47.0%	2.7%	29.2%	5.5%	7.1%	2.6%	
	平成20年	貨物量 334	228	106	13	73	6	11	2	
	シェア	100.0%	68.3%	31.7%	3.9%	21.9%	1.8%	3.4%	0.7%	
シンガポール・マレーシア (シンガポール港・タンジュンパラス港)	合計	平成10年	貨物量 331	181	150	2	89	2	37	20
		シェア	100.0%	54.7%	45.3%	0.6%	27.0%	0.6%	11.2%	6.0%
		平成15年	貨物量 596	158	439	1	257	7	96	77
		シェア	100.0%	26.4%	73.6%	0.2%	43.2%	1.2%	16.1%	12.9%
		平成20年	貨物量 811	137	674	1	418	8	86	160
		シェア	100.0%	16.9%	83.1%	0.2%	51.6%	0.9%	10.6%	19.8%
	輸出	平成10年	貨物量 175	130	45	1	15	0	26	3
		シェア	100.0%	74.5%	25.5%	0.5%	8.3%	0.0%	14.8%	1.8%
		平成15年	貨物量 276	111	165		98	1	41	26
		シェア	100.0%	40.2%	59.8%		35.5%	0.2%	14.8%	9.3%
		平成20年	貨物量 427	81	345		206	3	45	91
		シェア	100.0%	19.1%	80.9%		48.3%	0.7%	10.6%	21.4%
輸入	平成10年	貨物量 156	51	105	1	75	2	11	16	
	シェア	100.0%	32.5%	67.5%	0.7%	47.9%	1.2%	7.2%	10.6%	
	平成15年	貨物量 320	47	273	1	159	7	55	51	
	シェア	100.0%	14.6%	85.4%	0.4%	49.7%	2.1%	17.2%	16.0%	
	平成20年	貨物量 384	56	328	1	213	5	41	69	
	シェア	100.0%	14.5%	85.5%	0.3%	55.3%	1.2%	10.7%	18.0%	

注) 直送貨物量: 対自国分貨物量(高雄港・基隆港・台中港 台湾、シンガポール港 シンガポール、タンジュンパラス港 マレーシア)

表 10 港湾別にみた直送貨物量・積替貨物量・非直送率

(単位：千ト)

船積港・船卸港	年次	合 計															
		合計	直送貨物量	1 2 港計		積替貨物量											
				積替貨物量	非直送率	釜山港	光陽港	香港	上海港	深セン諸港	廈門港	寧波港	基隆港	高雄港	台中港	シンガポール港	タンジュンペラス港
スーパ- 中樞 港湾	平成10年	8,750	8,518	232	2.7%	39	0	25	4	1	0	0	11	42	4	107	
	平成15年	11,769	10,556	1,214	10.3%	177	0	400	26	3	1	1	8	240	4	333	20
	平成20年	10,735	9,414	1,321	12.3%	198	0	301	90	40	1	9	18	84	18	465	98
その他 港	平成10年	1,845	1,508	337	18.3%	190		65	0		0		17	20	1	43	
	平成15年	2,919	1,837	1,082	37.1%	653	6	114	6		0	0	10	201	7	84	1
	平成20年	2,607	1,526	1,081	41.5%	752		82	16	7	0	2	9	81	21	104	6
合 計	平成10年	10,595	10,026	569	5.4%	229	0	90	4	1	0	0	28	62	5	150	
	平成15年	14,688	12,392	2,295	15.6%	830	6	514	31	3	1	1	18	441	10	417	22
	平成20年	13,342	10,940	2,403	18.0%	949	0	383	106	46	1	11	27	165	39	570	104

船積港	年次	輸 出															
		合計	直送貨物量	1 2 港計		積替貨物量											
				積替貨物量	非直送率	釜山港	光陽港	香港	上海港	深セン諸港	廈門港	寧波港	基隆港	高雄港	台中港	シンガポール港	タンジュンペラス港
スーパ- 中樞 港湾	平成10年	4,255	4,203	52	1.2%	16		15	0	0	0	0	7	1	1	12	
	平成15年	4,875	4,321	554	11.4%	80	0	218	10	0	0	0	4	110	1	127	2
	平成20年	4,030	3,355	675	16.8%	109		177	23	35		3	6	47	11	194	69
その他 港	平成10年	966	805	161	16.6%	61		50					10	6	1	33	
	平成15年	1,289	880	409	31.7%	207		62	3				3	94	5	35	1
	平成20年	1,036	544	492	47.5%	278		63	4	4			6	37	18	76	6
合 計	平成10年	5,221	5,008	213	4.1%	77		65	0	0	0	0	18	7	1	45	
	平成15年	6,164	5,201	963	15.6%	287	0	280	13	0	0	0	7	204	6	162	3
	平成20年	5,067	3,899	1,168	23.0%	388		240	27	39		3	12	84	29	270	75

船卸港	年次	輸 入															
		合計	直送貨物量	1 2 港計		積替貨物量											
				積替貨物量	非直送率	釜山港	光陽港	香港	上海港	深セン諸港	廈門港	寧波港	基隆港	高雄港	台中港	シンガポール港	タンジュンペラス港
スーパ- 中樞 港湾	平成10年	4,495	4,316	180	4.0%	23	0	10	4	1	0		3	41	3	96	
	平成15年	6,894	6,234	660	9.6%	98	0	182	15	3	0	1	4	130	2	206	18
	平成20年	6,705	6,059	646	9.6%	89	0	124	67	5	1	6	12	37	7	271	29
その他 港	平成10年	879	703	176	20.0%	129		15	0		0		7	14	1	10	
	平成15年	1,629	956	673	41.3%	446	6	52	3		0	0	7	107	2	49	0
	平成20年	1,570	982	589	37.5%	473		20	12	3	0	2	3	43	3	28	0
合 計	平成10年	5,374	5,018	356	6.6%	152	0	25	4	1	0		10	55	4	105	
	平成15年	8,523	7,191	1,332	15.6%	544	6	235	18	3	1	1	10	237	4	255	19
	平成20年	8,276	7,041	1,235	14.9%	562	0	143	79	8	1	8	15	80	10	299	29

注) スーパ-中樞港湾：東京港、横浜港、名古屋港、四日市港、大阪港、神戸港

参考１．コンテナ貨物の仕向地、仕出地

(１) 仕向地（輸出）

- ・仕向地を州別にみるとアジア州(61.2%)、北アメリカ州(16.4%)、ヨーロッパ州(14.1%)の順。
- ・前回調査と比較すると、前々回の47.4%から前回60.8%へ大幅にシェアが拡大したアジア州は、今回61.2%で0.4ポイントの小幅増。一方、前回27.2%から20.2%へシェアを落とした北アメリカ州は、3.8ポイント減の16.4%で引き続きシェアは低下傾向。
- ・国別にみると、中国(20.3%)、アメリカ(14.0%)、タイ(5.9%)、香港(4.8%)、台湾(4.6%)の順に貨物量が多い。
- ・アジア州では、中国におけるシェアの拡大傾向に歯止めが掛かり、韓国、台湾などNIES諸国はシェアが低下。一方で、UAEなど中東はシェアが拡大。
- ・トン当たりの申告価格を州別にみると、北アメリカ州は42.7万円(前回調査40.8万円)、ヨーロッパ州は37.8万円(同39.8万円)、アジア州は32.5万円(同24.5万円)。
- ・アジア州のトン当たりの申告価格は、北アメリカ州やヨーロッパ州を下回るものの、前回調査に比べ、その差は縮小。

表１１ 輸出コンテナ貨物量の多い仕向国のシェアの変化

(単位:トン,%)

仕向国	平成20年		平成15年		シェアの増減
	貨物量	シェア	貨物量	シェア	
中国	1,029,110	20.3%	1,249,121	20.3%	0.0%
アメリカ	710,410	14.0%	1,087,804	17.6%	-3.6%
タイ	296,733	5.9%	353,597	5.7%	0.1%
香港	245,487	4.8%	379,639	6.2%	-1.3%
台湾	231,243	4.6%	422,507	6.9%	-2.3%
韓国	223,253	4.4%	273,868	4.4%	0.0%
UAE	168,784	3.3%	110,943	1.8%	1.5%
輸出計	5,066,596	100.0%	6,164,347	100.0%	-

図3 2 仕向地別コンテナ貨物量（輸出）

単位：千トン
（構成比）：%

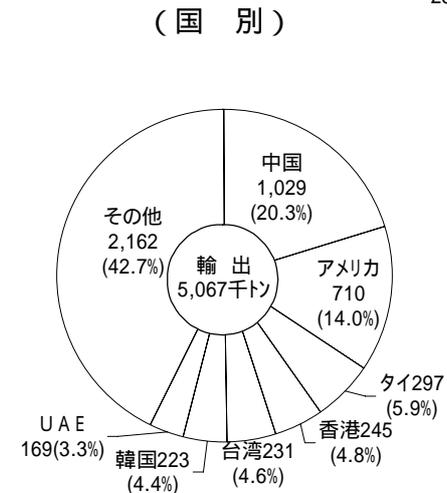
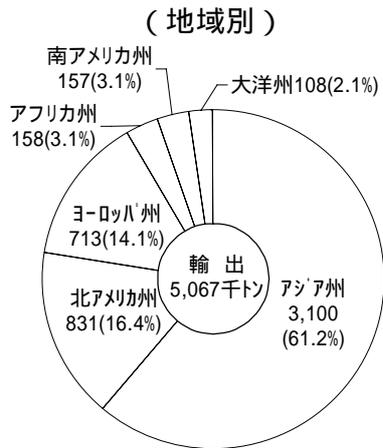
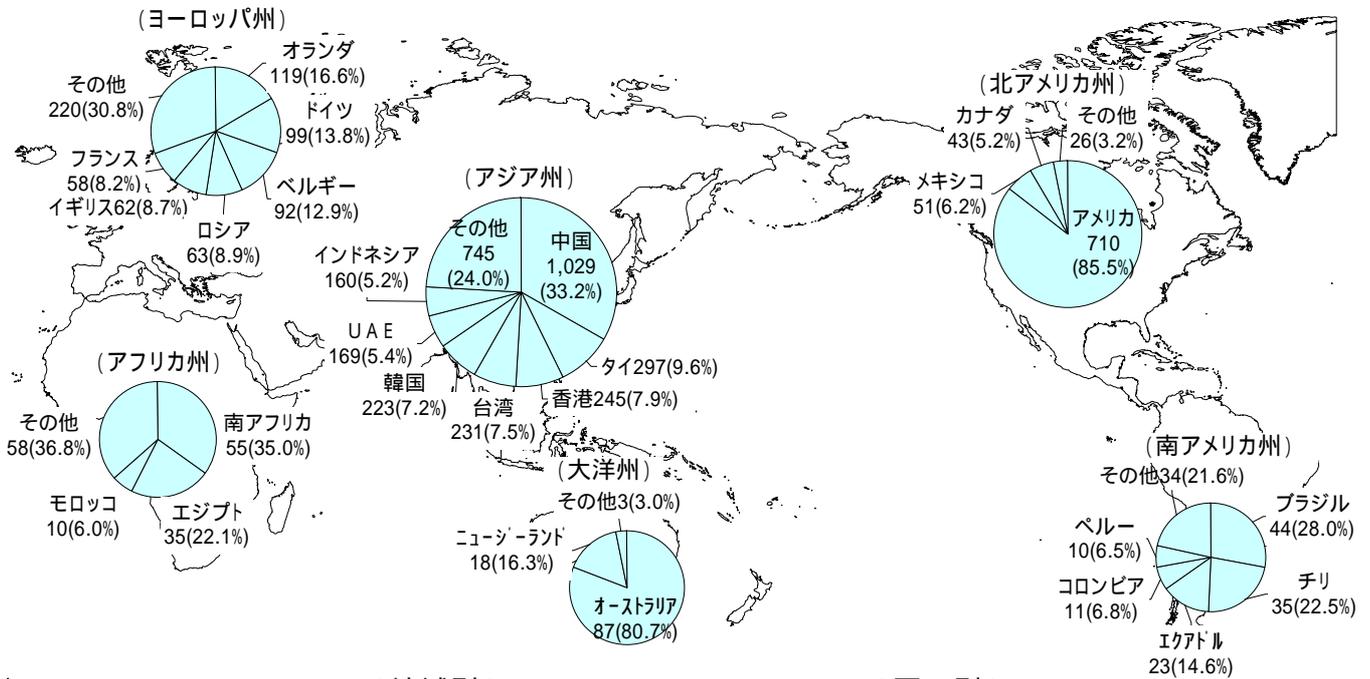


表 1 2 仕向地域別に見た申告価格の捕捉率

単位：百万円

仕向国	コンテナ調査 金額(A)	貿易統計 金額(B)	捕捉率 (A / B)	仕向州	コンテナ調査 金額(A)	貿易統計 金額(B)	捕捉率 (A / B)
中国	431,369	500,663	86.2%	アジア州	1,007,146	1,178,404	85.5%
(うち香港)	72,113	87,755	82.2%	北アメリカ州	354,563	401,348	88.3%
アメリカ	302,596	342,043	88.5%	ヨーロッパ州	269,141	305,949	88.0%
韓国	111,389	130,007	85.7%	その他	96,892	111,767	86.7%
タイ	104,906	121,346	86.5%	合計	1,727,742	1,997,468	86.5%
台湾	89,560	109,860	81.5%				
その他	687,922	793,548	86.7%				
合計	1,727,742	1,997,468	86.5%				

(2) 仕出地(輸入)

- ・仕出地(原産国)を州別にみると、アジア州(74.1%)、北アメリカ州(12.0%)、ヨーロッパ州(8.7%)の順。
- ・前回調査と比較すると、アジア州(前回70.5%)は3.6ポイント増の74.1%で着実にシェアが拡大。一方、北アメリカ州は前回の14.8%から2.8ポイント、ヨーロッパ州は9.9%から1.2ポイントシェアが低下し、特に北アメリカ州は輸出と同様に、前々回21.6% 前回14.8% 今回12.0%と引き続きシェアが低下傾向。
- ・国別では、中国(49.4%)、アメリカ(8.9%)、タイ(5.9%)、韓国(4.3%)、インドネシア(3.9%)の順。
- ・貨物量の多い上位5ヶ国は前回調査と同じだが、中国のシェアが5.2ポイント拡大したのに対し、他の4ヶ国はシェアが低下。特にアメリカは、2.4ポイント減でシェアの減少幅が大きい。
- ・トン当たりの申告価格を州別にみると、ヨーロッパ州が28.3万円(前回調査20.1万円)、北アメリカ州が20.1万円(同16.5万円)、アジア州が18.5万円(同13.3万円)。
- ・前回調査と比較すると、主要3州はいずれもトン当たりの申告価格が上昇。

表13 輸入コンテナ貨物量の多い仕出国のシェアの変化

(単位:トン,%)

仕出国	平成20年		平成15年		シェアの増減
	貨物量	シェア	貨物量	シェア	
中国	4,087,495	49.4%	3,768,862	44.2%	5.2%
アメリカ	733,263	8.9%	961,505	11.3%	-2.4%
タイ	491,301	5.9%	536,713	6.3%	-0.4%
韓国	358,061	4.3%	431,144	5.1%	-0.7%
インドネシア	322,587	3.9%	357,511	4.2%	-0.3%
台湾	235,986	2.9%	293,978	3.4%	-0.6%
カナダ	219,338	2.7%	262,193	3.1%	-0.4%
輸入計	8,275,634	100.0%	8,523,196	100.0%	-

図 3 3 仕出地別コンテナ貨物量（輸入）

単位：千トン
（構成比）：%

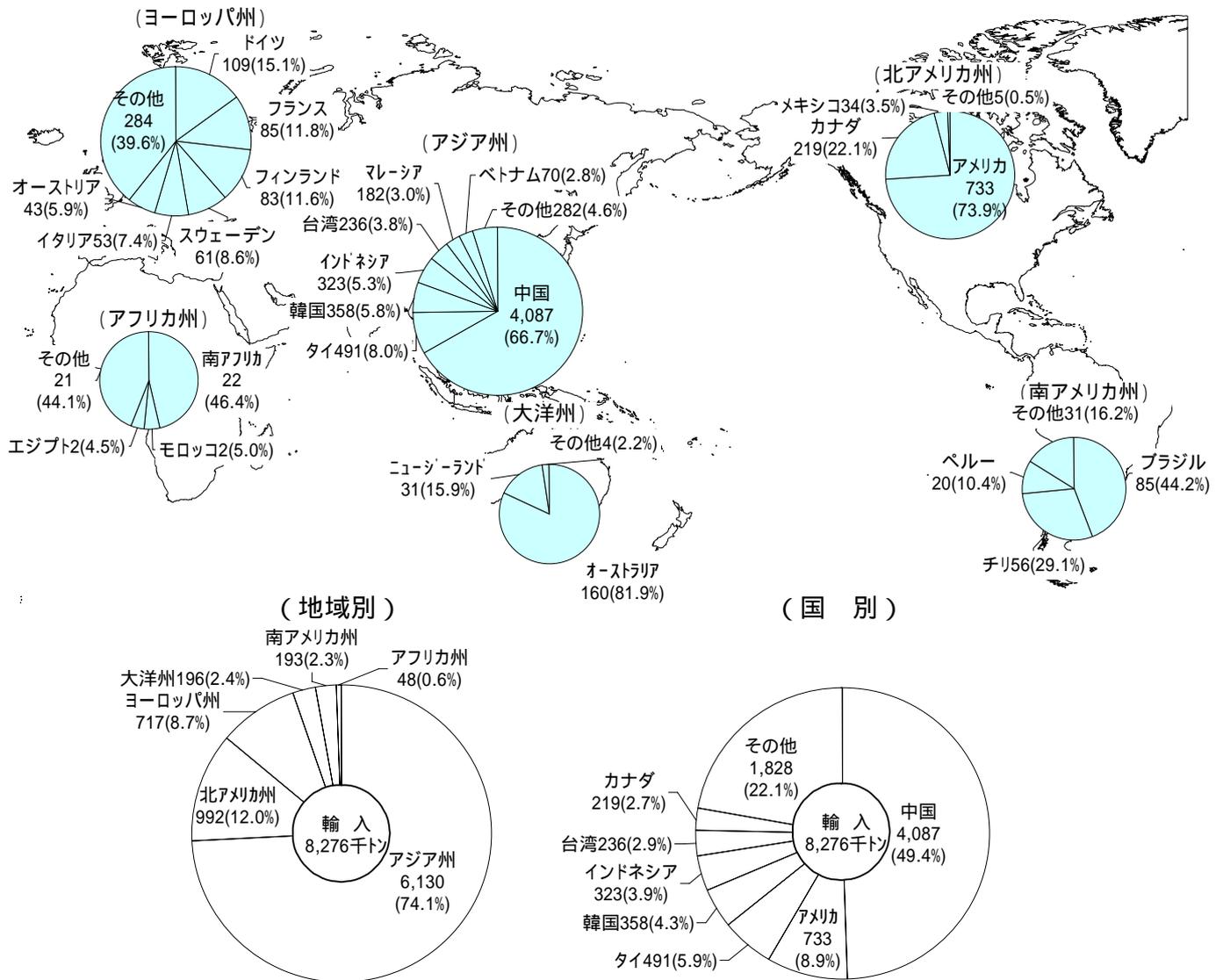


表 1 4 仕出地域別にみた申告価格の捕捉率

単位：百万円

仕出国	コンテナ調査 金額(A)	貿易統計 金額(B)	捕捉率 (A / B)	仕出州	コンテナ調査 金額(A)	貿易統計 金額(B)	捕捉率 (A / B)
中国	727,207	876,161	83.0%	アジア州	1,134,345	1,361,661	83.3%
(うち香港)	2,981	3,311	90.0%	ヨーロッパ州	203,026	245,072	82.8%
アメリカ	157,349	191,988	82.0%	北アメリカ州	199,400	242,244	82.3%
タイ	93,456	109,184	85.6%	その他	102,471	122,049	84.0%
韓国	86,453	102,883	84.0%	合計	1,639,242	1,971,026	83.2%
インドネシア	53,259	62,982	84.6%				
その他	521,519	627,827	83.1%				
合計	1,639,242	1,971,026	83.2%				

参考2 . 品目別にみたコンテナ貨物

(1) 輸 出

・品類別にみると、金属機械工業品が53.5%を占め、以下、化学工業品(16.4%)、ゴム製品などの雑工業品(14.7%)、再利用資材などの特殊品(7.2%)の順に貨物量が多い。

・個別品目で貨物量が多いのは以下の通り。

金属機械工業品：産業機械(13.5%)、自動車部品(13.1%)、完成自動車(7.6%)、電気機械(6.2%)

化学工業品：染料・顔料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品(10.9%)、化学薬品(2.9%)

雑工業品：ゴム製品(10.7%)

・輸出申告価格では、金属機械工業品が72.7%を占め、以下、化学工業品(15.0%)、雑工業品(6.8%)の順。貨物量に比べ、金属機械工業品の比率が高い。

・トン当たり申告価格は以下の通り(全品目平均34.1万円)

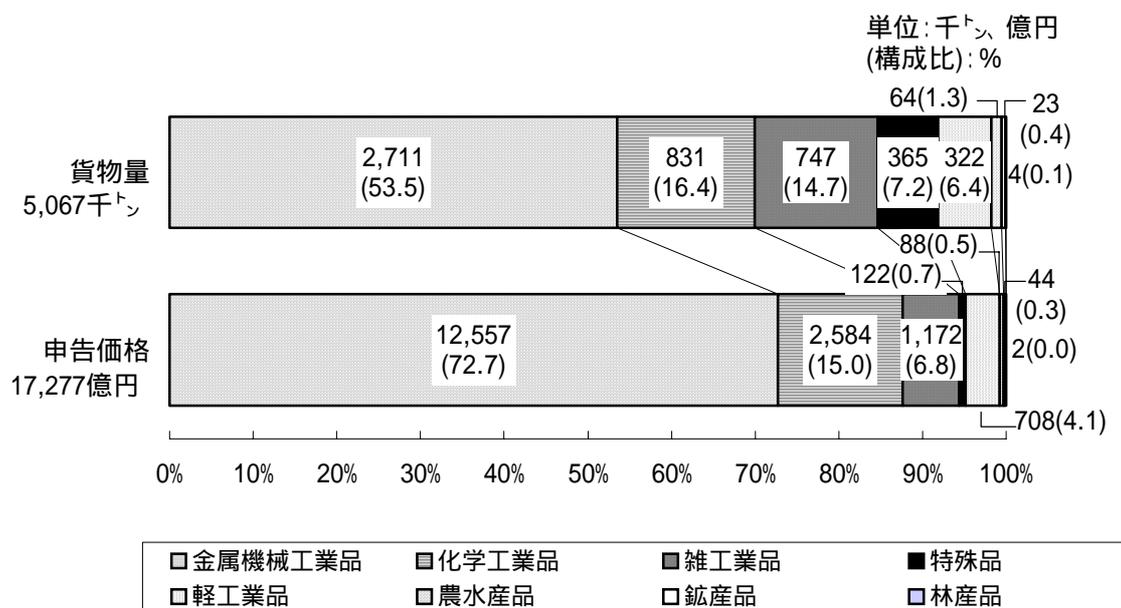
金属機械工業品(46.3万円) 化学工業品(31.1万円)、

軽工業品(22.0万円) 鋳産品(19.7万円)

雑工業品(15.7万円) 農水産品(13.8万円)

林産品(4.9万円) 特殊品(3.4万円)

図34 品類別コンテナ貨物量、申告価格(輸出)



(2) 輸 入

・品類別にみると、衣類、家具などの雑工業品が29.7%を占め、以下、金属機械工業品(24.1%)、化学工業品(12.5%)、製造食品などの軽工業品(11.2%)の順に貨物量が多い。

・個別品目で貨物量が多いのは以下の通り。

雑工業品 : 衣服・身廻品・はきもの(13.2%)、家具装備品(7.2%)、木製品(3.1%)

金属機械工業品 : 電気機械(7.6%)、産業機械(5.0%)、金属製品(3.0%)

化学工業品 : 染料・顔料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品(6.1%)、化学薬品(3.4%)

・輸入申告価格では、金属機械工業品(37.7%)以下、雑工業品(22.0%)、化学工業品(13.0%)の順。貨物量に比べると、輸出と同様に金属機械工業品の比率が高い。

・トン当たり申告価格は以下の通り(全品目平均19.8万円)。

金属機械工業品(31.0万円)	農水産品(23.7万円)
化学工業品(20.6万円)	軽工業品(18.8万円)
雑工業品(14.6万円)	特殊品(10.0万円)
鉱産品(9.4万円)	林産品(8.8万円)

図 3 5 品目別コンテナ貨物量、申告価格(輸入)

